

まちづくりアンケート報告書

自由意見一覧

平成24年5月

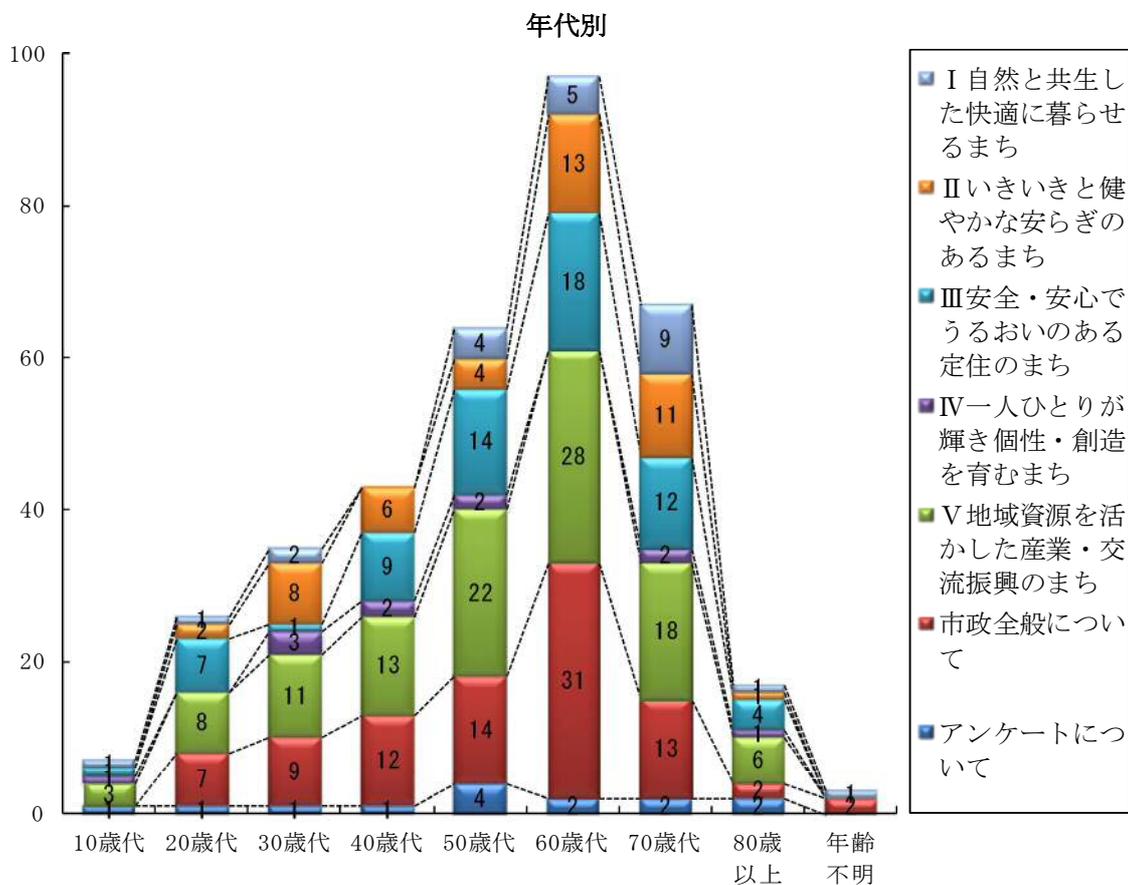
宇陀市

1 まちづくりについての自由意見

359人の記述が得られ、分類すると次のとおりの結果となっています。

(人)

区分	全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	年齢不明
I 自然と共生した快適に暮らせるまち	24	1	1	2	0	4	5	9	1	1
II いきいきと健やかな安らぎのあるまち	45	0	2	8	6	4	13	11	1	0
III 安心・安全でうるおいのある定住のまち	66	1	7	1	9	14	18	12	4	0
IV 一人ひとりが輝き個性・創造を育むまち	11	1	0	3	2	2	0	2	1	0
V 地域資源を活かした産業・交流振興のまち	109	3	8	11	13	22	28	18	6	0
市政全般について	90	0	7	9	12	14	31	13	2	2
アンケートについて	14	1	1	1	1	4	2	2	2	0
計	359	7	26	35	43	64	97	67	17	3



自由意見一覧

自然と共生した快適に暮らせるまち

性別	年齢別	意見
10 歳代	女性	環境を大切にすることと、お年寄りがバスなどを使う時間帯などを聞いて増やすとよいと思います。
20 歳代	女性	自然を生かしたまちづくり、無駄なところにお金を使わないで本当に市民に役立つ使い方を。教育に力を入れる。農家の保護、農家も含めての自然は宇陀市の財産、今あるものをどうPRするかという視点で進めるとお金もかからずよいと思う。市民マラソンやスポーツ関連の行事は素敵だと思う。
30 歳代	女性	私は自然保護や自然環境を大切にしたい生活を送ることがとても大切だと思っています。それを基本に農業を活性化し宇陀ブランドを作ったり、商業や観光などまち全体を活性化していけたらいいと思います。もっと宇陀市がアピールできるようになったらいいと思います。
50 歳代	女性	豊かな自然を残す取り組み。都会に住む人が休日等に野菜を作ったり、リフレッシュできる場所、交流する機会。駅前のイルミネーションにも癒されるが、四季の花、特に榛原宇陀市をアピールするダリアを植えて、駅に降りた時に感動できるように花を植え替えては。養護施設や高齢者施設の人々とボランティア。駅に目立つ場所に大きな絵（小・中・高校生で描く）の観光案内。
60 歳代	女性	竜鎮溪谷を整備してほしい。夏、子供が水遊びできるように。東吉野村などを参考にしてほしい。バスはノンステップバスが望まれる。高齢になると昇降が大変な様子です。
60 歳代	女性	宇陀市は自然豊かな町で美しい空気と水に恵まれています。今後も空気や水が汚されることのないよう、子孫のために守っていかなければなりません。自然と歴史ある豊かな環境の中で歴史ある建造物を活かした観光に力を入れて、多くの芸術の大切さを認識してほしいと思っています。また、子どもや若者が夢と希望を持って生きることのできるまちづくりを実現できることを願います。以前より人口も減り、とても厳しい財政難の中で一つ取りあげるとすれば、企業誘致を考えることはできないでしょうか。若者に働く場を提供することが解決策になるのでは。
70 歳代	男性	田畑に杉、ヒノキを植えて、里山が少なくなってきました。補助によって里山を広げるような施策をつくってほしい。また地域ぐるみで里山を利用して少しでも収入を得られるような施策を進めてほしい。
70 歳代	男性	自然環境には恵まれているので、さらに機能的なまちづくりを推進してほしい。社会資本の充実が将来をにらんだまちづくりの原点であると思う。人材の育成：教育にもっと積極的に取り組んでほしい。産業の育成：誘致も大切だが、地場産業の育成による雇用機会の拡大が重要である。
70 歳代	女性	自然環境を活かし、人の多く来るまちづくり。看板等案内板増やす。額井岳等のハイキング道の整備、草刈り、ボランティア等の取り組み。文化面が経済事情で切られている面があるが、文化を育てる必要あり。田畑の活用（農家以外の人への解放策）充実。
70 歳代	女性	自然環境を、壊さない観光地づくりを望みます。又兵衛桜を見に来られた方いわく「以前訪れた時とあまりに様変わりしているのに驚きました」と。私もそう思いました。何年か前のせせらぎではなく、まるでつくりあげられた小川に変わってました。宇陀の自然のよさを残してほしいです。
70 歳代	男性	市役所直営の葬儀場の設置。大阪府、大阪市などには火葬場付きの葬儀場がある。摂津市、茨木市など、一度見学に行くべき。駅前に大型スーパーの誘致。

30 歳代	女性	ゴミの減量化やリサイクルに向けた取り組みについてですが、ペットボトルや牛乳パックはどこ家庭でも出るものですが、収集している場所がありませんので、(スーパーなど) リサイクルに出したくても協力しづらいように思います。もっと気軽にリサイクルに積極的になれるように収集場所を設置してもらえるとよいと思います。年配の方や、その方面に携わっている人ならともかく、若い世代は市政について関心がほとんどないと思います。だから、今の宇陀市が、どういう取り組みを行っている、どういう問題を抱えているかなど知るよしもないため、このアンケートのような質問をされても答えにくいのが本当のところだと思います。
60 歳代	女性	ポイ捨てのゴミの清掃 (ダム湖周辺や美榛苑)。
70 歳代	女性	(新しく) 移住してきて、マナーの悪い人を何とかしてほしい。
70 歳代	女性	川はだいぶきれいになりましたが、まだまだゴミは沢山落ちています。一人ひとりが気をつければ、だいぶ変わると思います。
50 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・宇陀市の古き良き街並みと新しい施設等のバランスを美しく保ってほしい。 ・ひのき坂にバスを通してほしい (当初は開通する予定、いったいいつになるのかを聞いて、引っ越してきた人が多い)。 ・年度末になると、あちこちで道路を掘り返すのはやめてほしい。掘り返したあとの道路がガタガタで汚いし、段差ができて危険。 ・路上駐車している車が多く、走りにくいし危険である。 ・全体的に道が狭く、歩道がない。一般道を整備すべきである。 ・宇陀市民病院そのものは改築してきれいになったが、ドクター及び診療科をもっと充実させるべきではないか? 小児科の入院受け入れや産科の復活など。
60 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・「圧倒的な花の中にあるまち」「圧倒的に高い品格の人々が暮らすまち」 ・鳥見山から県道まで全山「つつじ」で埋め尽くす。額井岳山麓を壮大な梅林にする。郊外には何ヶ所かの広大な「フラワーパーク」を開発し、何万株単位の「すずらん」「水芭蕉」「菖蒲」「シャクナゲ」「ヒマワリ」「ダリヤ」「バラ」「チューリップ」などの花園を展開。市内や田畑の空き地には「レンゲ」「菜の花」「まんじゅしゃげ」「コスモス」とう季節の花が飾られる。建物 (全家庭を含む) の玄関や窓辺にも花が飾られる。街には街路樹が立ち並ぶ。まさに「華の町」「花の街」「はなの小道」。 ・人々は明るくさわやかな「あいさつ」をかわす。多くの人々がほほ笑みをたたえ歌を口ずさむ。マナーやエチケットを逸脱する人はいない。「家族主義」をベースにした行政。 ・花を楽しみそして人との豊かさでさわやかなコミュニケーションで心を癒すために世界中の人々が訪れる。花の中でストレスの少ない生活は長寿をもたらす。いずれにしろ「まちづくり」は 2~3 年の片手間で出来ることではない。最低 10 年を一期とする 100 年計画が必要。市役所、公共施設、モデル自治会で「花いっぱい」「明るいあいさつ」運動の取り組みを。
70 歳代	女性	伊勢街道や駅前から東方向に通じる商店街を昔の町並みのようにするべき。建物を統一したり電柱をなくして電線を地下に埋設する。あぶらや前の石灯ろうのあたりに生活用品がたくさん目につくので改善してほしい。駅前から小さな石灯ろうを設置してあぶらや前にたどり着くのはどうか? 電線・電柱は全市内でなくしてほしい (地震や台風の時に倒れたら大変)。
80 歳以上	男性	旧萩原地区の千瀬宅地造成時の先祖の拡大な木宇構想の遺跡の調査や再考を行って現在の発展計画の見直しが必要と考えます。先人の考え方は実に壮大で将来のまちの発展を考え完成後の在り方にまで、考慮されているように思われます。天様組の受入れ時代の遺構の保存等。あまり無配慮に破壊しないよう注意したい。
60 歳代	女性	ダムや川をきれいにして、川沿いの公園を作っている場所を整備してください。
50 歳代	男性	公園の遊具を充実させてほしい。幼児用のブランコを設置してほしい。女性が外で働きに出れるような環境を充実させてほしい。

50 歳代	女性	以前なかった公園が多数あるが、今後の維持を継続していくうえで、美化を保つためには経費がそれなりに必要になるだろうと思うと、荒れた公園はない方がましかもと少し不安になる。高齢者が多い市だから、景観は悪くても、ベンチなど道路に設置してあれば、買い物ついでに人としゃべったりして、頭の回転をして、何かに興味を持って良いのでは。家で一人で孤独になりがちなので、外へ出るように対策が必要。
70 歳代	女性	小さい子ども達の遊び場が少ないと思います。子供の森公園までは遠いし、小規模のものでもあちこちにあればと思います。休日には子どもたちは暇をもてあましています。近くに気軽に遊べる場所があればいつも思っています(小さいものでも)。自然環境の保護(無駄に森林の伐採をしない)。すでにある文化財の保護、宇陀市への観光客の誘致。
不明	不明	最近公園に犬の散歩禁止の看板を見かける。一部のマナーの悪い人のためかと思うが、愛犬との散歩を楽しみにしている我々にとっては残念で不満。ペット、老人、子どもたちが楽しく過ごせる公園造りを目指してほしい。

いきいきと健やかな安らぎのあるまち

年齢別	性別	意見
20 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達の乳児健診が少ない。市で実施しないのであれば、母子手帳に記入ページがある分を個人で行っても助成できるようにしてほしい。 子どもの予防接種の受付から接種までの時間が長すぎます。受付後そのまま接種できるようにすべきだと思います。特に冬はインフルエンザなどの感染など、待ち時間中に感染してしまうような気がします。 幼稚園の延長保育の時間が短い。 他市町村で、中学入学で医療費助成がある自治体も多くなっているので、宇陀市においても検討していただきたいです。
30 歳代	女性	子どもを育てるのに最低限のことだけでなく、何か「宇陀市で子育てすると〇〇の点がとてもよい」というポイントがあれば若者世帯が増えるのではないのでしょうか？大阪や奈良市内と比べると便利ではない点が多くあるとは思いますが、車がなくてもバス(電車)がもっと充実していれば、と思うことが多々あります。高齢者、子育て世代に優しいまちづくり、期待しています。
30 歳代	女性	子育て支援を充実させてほしい。保健師が頼りなく、あてにならない。3歳の健診で尿検査で異常があったのに、保健師との面談でその一番大事な尿検査のことを保健師は伝え忘れていた。びっくりするくらい頼りない保健師だと思った。意味のない集団での乳幼児健診をやめて、個人でかかりつけの小児科できるようにすればいいと思う。二度と受けたくない。
40 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> 乳児医療の申請の簡素化と子どもの医療費に対する補助。 新しい公園はもう作らなくていいです。 企業への誘致、住宅開発等、住人増に向けた策を考えてほしい。
40 歳代	女性	市内の保育所の改修が必要だと思います。古いままで使っているところがあります。また高齢者が利用できる市内循環バスの運行やこのバスを利用して参加できるサークルなどをつくって頂き、家庭に引きこもる高齢者の外出できる所を考えて頂きたい。若い方の職場が確保されることを期待します。
50 歳代	女性	20~30代が市内に定住し安心して子供の産める環境づくり。市内に子供が見あたらない、老人ばかり。防災：避難場所までに大きな川があり橋を渡る必要がある、橋が流されたらと不安。観光客ばかりでなく、住民のことをまず考えてほしい。人口を増やしてほしい、農林業の進行はその先の話。市役所の職員の削減。
70 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり(予防医療と介助・共助)のまちづくり 雇用の創出につながる商店企業の誘致のまちづくり みんなで子どもを育て守るまち(教育環境づくり) 自然環境と水資源の保全のまちづくり(山里の小川がきれいなまち)・自然エネルギー

		ギー化を目指すまちづくり・自立支援でみんな楽しく働くまちづくり
20 歳代	男性	高齢者が安心して住めるまちづくりと、若者がずっと宇陀市で住もうと思えるまちづくりが大事だと思います。
30 歳代	女性	少子化に歯止めをかけるには、安心して子供を産め、子供が病気になってもしっかりサポートできる医療体制を作らなくてはならない。宇陀市にはそれが足りないと思う。飲食店なども少なく、みんな外へ出て行ってしまうのも無理ないと思う。
30 歳代	女性	高齢化に伴い、養護老人ホームやデイサービス、医療の充実を強化していただきたい。具体的には土曜日診療や医院の増加をお願いしたい。宇陀市を観光地としてより、経済の活性化をお願いしたい。強く思うことは、産業廃棄物を宇陀市に持ってこないこと。住民、人口を増やすためにも絶対に持ってきてはいけないと思う。産業廃棄物、絶対反対。宇陀市をより良いまちにするためにも、どうぞよろしく願います。
40 歳代	男性	高齢者福祉サービス、子供の学習環境の充実。
40 歳代	女性	介護を必要とする人たちは、たくさんいるのに、それを受け入れる施設が少ない。順番を待って、入所を心待ちにしている人たちの生活を守るための施設を増やしてほしい。
50 歳代	男性	高齢者が増加するなかで地元の農林業を中心に地場産業を充実させ、市民が自活できるまちづくりを進めてほしい。
60 歳代	男性	高齢者のための福祉サービスの充実に尽きる。
60 歳代	男性	私達のまちも過疎化が進み 65 歳以上の人口が増えていく傾向です。10 年、20 年先のことを思うと心配です。若い人が都会へ出ていかななくても生活できる環境作りが重要だと思います。住みよい宇陀市になるよう願います。
60 歳代	女性	伊那佐小学校、幼稚園の跡地を利用して介護老人保健施設（老健は、さんとびあ榛原だけ）冠婚葬祭のセレモニーの設立を考えてもらえば、榛原、菟田野、大宇陀地域の方々が身近で便利で利用されるのではないのでしょうか。
60 歳代	女性	高齢化と少子化が都会より進むなかで、安心して暮らせる医療体制が大事。若い人が住みたいと思えるまちづくり。
60 歳代	女性	私の孫は高機能発達障害です。支援を受けています。榛原小学校の某先生はとても熱心に指導してくれています。これからもよろしく願います。
60 歳代	女性	一人暮らし老人が安心できる取り組み、孤独死にならないように情報をしっかりつかんで近所の人にも声をかけてもらうようお願いしてほしい。
60 歳代	女性	高齢者が増えています。私たちも、もうすぐでするので考えてほしいです。
60 歳代	女性	一人で生きられない。皆さんのおかげでここまで生きていくことづくしくこの年になって思う。主人が若い時がは無性に頑張った。若い人のおかげ。若い人の笑顔のある生活を願う。ゴミ出しにしても重くなかったのに、ゴミを出すのが重荷、出す時間のできづらくなる現実。老人ばかりのまちになるのでは。年とった自分で出来る環境。できないことを手伝ってもらえるシステムがほしいです。例えば、用事 1 回につき 1000 円弱出して手伝ってもらおうとか。意外と、隣の人に頼めないものです。年寄り気をつけてもらうもの。あっさり若い人に手伝ってもらえるのではないか。自然に強いまちでこれからもいてほしい。3 月 27 日の NHK 放送シチリア島のあある町、地震に遭い、7Km 離れたところに 400 年前の町を作り、今世界遺産だそうです。石畳の道でした。自分の家の周り何も工夫していない。恥づかしく思う。雨・風になにも気にならない道でいてほしい。木など倒れないように。ちょっとの雪でも怖い道あり。横の木を切ってほしい。まびいて陽があたるように。満足度の私の 3 の〇はわからない意味が大きいと思います。（特に力を入れるべき施策を）5 つ選ぶのずいぶん悩みました。もう一つ書けなかったもの、施策番号 82 番（市外に出た人を地域に呼び戻す）。それが一番大事になるのでは。
60 歳代	女性	若い人達とのつながりができ、元気な時は皆様の役に立てることができればと思います。残り少ない人生を寝たきりにならないように死ぬまで元気でいたいです。そのために今の私にもできる情報がほしいです（ボランティアとか皆様とのふれ合い

		ができる機会)。
70 歳代	男性	高齢者が、この地域で生涯を終えるような環境づくりをしてほしい。現在サラリーマン家族はある程度歳をとると都会に出て行く。この町では不安を感じる。
70 歳代	男性	第一に人口を増やす方策を考えなければならないと思います。幼児の子育てをしている夫婦については社会的に高い評価をする。例えば、公務員や会社員なら早く昇進させるとか、住民税を安くするとか、子育てそのものにつき社会的に高い評価をする。宇陀市民の方の出生時には、行政機関や議会からわざわざでもお祝いと励ましの言葉を差し伸べてしっかり育児に専念するようにと励ますことも必要と思います。いまは、葬式の時に行政機関や市議会、県会、国会から参列したりしているが、出生時にも直接、間接に関与して励ましの言葉を差し伸べることも大事ではと思います。 次に、宇陀市は夏場はきわめて涼しいので、涼しい宇陀へ移住をPRしてはどうかと思います。私の家は、完全木造住宅で住宅部分はクーラーはありません。建築以来約38年 エコ住宅であります。宇陀は本当に涼しくすごせることをもっともっとPRして都会の方に移住を勧めてもよいのではないかと思います。家も建て方によってはクーラーなくても十分過ごせます。
70 歳代	女性	年寄りの施設をもっと増やしてほしい。
70 歳代	女性	私は70才以上ですので、色々な書類の手続きをするのに今は地域事務所を利用していますが、これからも地域事務所を廃止しないで存続するようお願いいたします。何年後には廃止になるような話も聞きますので、この点よろしく申し上げます。
80 歳以上	女性	今住んでいる所でも65歳以上がほとんどです。やはり老人の住みやすいまちを考えて頂きたいと思います。道路歩道、もう少し広く歩きやすいようにしてほしいです。
30 歳代	男性	病院の救急体制、市職員の削減、意識改革、生活保護受給者を減らす、他市に比べて税金が高い。産業廃棄物を市外に出さない、美しいまちづくりは無理。
30 歳代	女性	幼い子供の緊急医療を充実させてほしい。
30 歳代	女性	宇陀市立病院の夜間の受け入れが毎回悪く（もともと主治医でかかりつけなのに）他の病院で診てもらうように言われた。その後他の病院に連絡したが、やはり元々の主治医に診てもらうように言われ、再度宇陀市立病院に連絡しましたが、断られました。その結果、患者が亡くなりました。人の命をどう思っているのでしょうか？怒りがおさまりません。また 医師の患者に対する態度が悪すぎます。何様のつもりなのでしょうか！本当に病院に対しては不満があります。看護師も他の病院に比べるとレベルが低く、医師ももっと責任を持ってほしい。税金ばかり高く今まで何の改善もなされていない！
30 歳代	女性	宇陀市の医療体制などもっと考えてほしい。市立病院も新しくしたものの、見た目だけできれいで中身は一向に良くなっていない気がします。私達のように小さい子どもを持つ親にとっては、特に小児科に救急でも診てもらえるように、入院もできるよう考えていただきたいです。現状だと夜に救急に行っても1時間～2時間近くかけて行かないといけない日があったりと子どもを持つ親としてはとても不安です。今のままでは若い人たちがどんどん減っていくばかりだと思います。もっと安心して住めるよう、医療体制をしっかりと考え直してほしいです。そして、公園などの管理が行き届いていないのではないのでしょうか。しっかりと管理して安全に使用できるようにしていただきたいです。その他いろいろとありますが、今のままで宇陀市は良くならないと思います。もっとしっかりと将来のことを考えて無駄のないようにしていただきたいと思います。
40 歳代	男性	・市民病院も新しくなりますが、診療自体は午前中のみで別の病院とあわせて使用しないといけないので大変です。小さい子供達やお年寄りが住みやすいまちにはなかなかならないように思います。少しでも住みやすいまちになるように努力よろしくお願い致します。 ・バスターミナル周辺の使い勝手が悪すぎる！かえって危険な状態の時があります。
40 歳代	女性	医療体制について小児科の充実。小児が入院できる病院を。宇陀市にはなぜないのか？子供から老人までの医療体制を充実させないと宇陀市に住もうとは思わない。Uターンなんかしない。子供が生まれて友達は引っ越した。

50 歳代	男性	医療体制の充実（総合的医療）老人福祉に対する充実など、これから特に重要では。公園などの整備も重要ですが、整備しても使われない公園もあり公費の無駄遣いではないか。遊んでいるところ（遊休地）を有効に利用できるようにするべきではないか。
50 歳代	女性	夜間診療を充実させてほしい。在宅医療、在宅介護に力を入れてほしい。
60 歳代	男性	市立病院に関しては（冗談とまではいかないが）もう少し入院させてもらいたい。市内で仕事をする場所を増やしてもらいたい。
60 歳代	女性	市立病院の診療科目を小児科、耳鼻科、皮膚科等、もっと充実していただきたい。
60 歳代	女性	宇陀市民病院について（職員や看護師さんの教育を希望するものです）、現在病院が新しくなったことは結構なことですが、以前、私自身気になったこと。ある科の窓口の受付職員と、ずいぶんと年齢のいった看護師さんの態度に憤慨したことがあります。患者は順番が来るのをじっと待っているのです。何時間も！黙って受付に座っているだけではなく、待たされている患者に対して、遅くなっている状況を説明するべきです。そして、やっと呼ばれて部屋に入ると、電話予約で行っているにもかかわらず、看護師さんは電話予約だからしょうがないという感じの言われ方に！電話予約の意味がない！もう少し患者に対して的確に親切な態度で接してほしい。現在私は、梅中清生会に替わりました。
60 歳代	女性	私は東里診療所を長く利用させて頂いています。C型肝炎を治療していますが、注射に毎日通わなければ大変なことになります。治療費もかさみます。少しでも明るくなれるまちづくりをよろしくお願いします。
70 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・市立病院の医師、設備の高度化。 ・市の職員の教育。・危機管理の充実。 ・若者が定住できる環境づくり。
70 歳代	女性	市立病院について。腕ききの医者をそろえて職員の教育も向上し、安心して市民がかかれるように。遠くから（市外から）でも喜んでくるような病院にしてほしい（サービスも向上）。
70 歳代	女性	救急医療体制の充実。これまで遠くの病院に搬送されることが多かった。
70 歳代	女性	年齢が70才なのでこれからの医療体制が気になります。市立病院が広くて新しくなって良かったのですが、今度は医療費が心配になります。もっと安くなればいいのですが。
70 歳代	女性	市立病院建物は良くなったので、中身の充実に力を入れてほしいです。若い人達が働けるような仕事場があってほしいです。通勤できなくて、結局大阪に家を建てて、この榛原の地を離れざるを得ません。残されたのは親のみ。その親も年をとって爺さんばあさんです。市会議員の人数を少なくすることを望みます。ガレキを引き取るよう協力もすべきと思います。
70 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・住みやすいまち：衣食住の充実。特に医療体制。 ・人が集まるまち：観光面、働ける場所の確保。

安全・安心でうるおいのある定住のまち

年齢別	性別	意見
50 歳代	男性	いろいろあって難しいですが、まず人口を減らさないこと、空き家等の利用。室生に住みながら住んでいる人はたくさんいます。個々の事情で空いている家はたくさんありますが、空けさせない手だても必要かと。 例：入居者を紹介、あっせんする。空き家の固定資産税を増やす。空き家をつくることは個人の事情だけでなく、地域にとってマイナスになるので、罪悪感を持ってもらうようにする方法もありかと思ひます。
50 歳代	女性	空き家や空き地が多くなって、人が減ってさびしい、個人主義の人が増えて人の集

		まりがなくなってきた。
70 歳代	男性	空き家が放置され、住環境が悪化。ブロック構造物が生活道路に倒壊する懸念あり。
70 歳代	女性	国道上の町信号から宇陀警察インターに抜けるまでに左側に市営住宅があるが、あまりにも見苦しい感じがする。市役所市立病院は立派な建物が建っているがあれはどうかと思う。そのほうも力を入れてあげれば、宇陀市の美化になると思う。
80 歳以上	女性	降雪の間、市営住宅がほしい。通勤のため市営住宅がほしい。
20 歳代	男性	もともと綺麗な道路をいま、水道管工事などをして切ったりしているが、埋め直した道路のできがひどい。もっと綺麗に修復してほしい（天満台のバス道路・天満台とひのき坂の間の道路など）。
20 歳代	女性	道路工事がずさん過ぎます。
30 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・榛原は水道代が高いと思います。他の地域と比べて改善してほしいです。 ・医療費も小学校入学まで補助してほしい。他府県だと、入学するまでは無料のところもあります。 ・学校でクラスにインフルエンザがでた場合、クラス全員にその日だけマスクを配布してほしいです。 ・赤ちゃんのいる家庭に、助産師さんの訪問する回数を 1 度だけではなく、希望の人は何度か、3 ヶ月に 1 度でも訪問してほしい。
40 歳代	女性	水道管の敷設（井戸水では不安）。獣害（イノシシ、鹿、サル）の駆除。
50 歳代	男性	団地内のアスファルトが 20 年以上一度も補修されていない。早くしてほしい。
50 歳代	男性	道路の凸凹が激しく、二輪車で走行するのが難しい。事故の補償体制等について明確にして下さい。広報等で説明することが必要です。事故とは転倒などです。先日市役所に行きました。確定申告です。わからなくて聞きましたが、対応が悪いです。もっとお客様の観点での対応が必要です。「対応してやる」という態度では駄目です。
50 歳代	女性	道路整備の取り組みや、施策番号 53 の取り組み（生涯学習の機会）などを考えてほしい。
60 歳代	男性	命綱である水の安心・安全の給水事業。不要・不急な施設は思いきって廃止。若者に魅力あるまちづくり、産業興し。医療の充実、夜間救急の体制構築。老人福祉の充実。次代を担う子どもたちへ希望を与える施策。
60 歳代	男性	われわれの地域は水道水の設置が未完成で、各戸が井戸水を飲用。全国的にも数少ない集落と考えられる。若い人が U ターンして美しい故郷を維持してほしい。とりあえず観光産業の整備がてっとり早いと思う。
60 歳代	女性	下水道の設置を早くしてください（年数を追うごとに設備費がかさみ、心配です。）
60 歳代	女性	宇陀市は大阪に比べて水道代が高い。
60 歳代	女性	水道を引いてほしいです。一部の人の反対があれば引けないとのことですが、将来的に水道がなければ不安です。宇陀市全域に水道が引かれますようお願いいたします（菟田野大神在住です）。宇陀市に若い人がもっと住むように、住宅等積極的に増やしてほしいです。荒れた耕作地の活用も望まれます。
60 歳代	女性	上下水道の使用料が高い。道路にゴミを捨てる。マナーが悪い。
70 歳代	男性	道を直してほしい。村のつきあいが悪いので、隣近所はあかん。
70 歳代	女性	十数年経っても下水道計画ができていない、宇陀市はやる気があるのか。
70 歳代	女性	水道工事以降、道の真ん中に凹凸ができて、単車で通行するたびに危険を感じる。
20 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・白樺台（榛原）の前の道路に信号もしくは歩道（道路両側に）つくるなどしてほしい。子どもたちが朝通学するのに、カーブのすぐ先で横断するためにとっても危ない（横断歩道がそこにあるため）。 ・幼稚園の延長保育、小学校の学童保育の内容をもっと充実させてほしい。他市では市立の幼稚園でも 17 時まで保育している所もあり、榛原では短いので働いている親としては、保育所に入れるしかないが、保育所も定員オーバーで入所できな

		いと言われ困った。何とかしてください。
40 歳代	女性	下片岡の道を早く拡幅してください。
50 歳代	女性	現在住んでいる地域は交通の便が悪く、お年寄りで車のない人は病院に行くのも大変、道も隣の奈良市に比べて悪いように思う。バスもなく、独居老人は買い物難民になっている、80~90 歳の人が自動車の運転をしなければ生活できないというのは、いかがなものか。
50 歳代	女性	高齢者が毎日楽しく過ごせること、交通の便の悪い地域に住む人はイベントに参加したいと思ってもできない。車で送迎ができない場合市のバスを頼もうとすると「20 人以上でないと出せない」という。少人数でもバスを出すことがまちづくりの一環ではないか。
50 歳代	女性	このアンケートの中で 24 項目が重要であると判断しましたが、道路事情の悪い当地域では 31、32 の施策が最重要であると思います。集落の中心となるべき、市外に出ていく若い後継者を地域に呼び戻すには、道路の整備を考えていただくほかありません。定住環境の改善整備の取組みを是非お願いします。
60 歳代	女性	交通の便が悪い所なので、買い物に行くのにせめてバスを無料にしてほしいです。
60 歳代	女性	交通の便を考えてほしいです。
70 歳代	男性	人間は生きていくためには、食べることが大切です。特に室生地区においては、買い物に出る交通機関には大変困っています。デマンドタクシーと有償バスを乗り継いでエコープで買い物をし、荷物を持って長峯のバス停まで歩く困難さと、デマンドタクシーと有償バスの乗り継ぎの悪さ、高齢になるほど自家用車は運転できず、生きていくことの大変さを痛感しています。室生口大野駅の階段の多さ、足腰が年々弱っていく身体。まして年金生活にはとつてもつらい毎日です。イベントが開催されるのはたいてい土・日曜で参加したくても行けない状況。一人ひとりの輝き、楽しさなんてどこにもありません。聞くところによると、同じ有償バスでも大人一人 250 円、手をあげればバス停以外でも停まるとのこと。何とかしてください。今後も少子化と高齢化になっていくなか、もっと高齢者の立場になって改善してください。
10 歳代	男性	バスの料金が高くして利用する気になれない。若者にとって住みにくいというイメージがある。教育面ではインターンシップや地域学習など、自ら社会のことを学び、考え、実用的なことを学べることを目標にするのはよいことであると思われる、このまま何も変わらずにいると近い将来この土地に人が増える事はないと思われる、改善を望む。
20 歳代	男性	まちの活性化。奈良交通バスの料金の見直し。もっと利用しやすい料金で考えてほしい。
40 歳代	女性	バスに乗るにも 2 キロ以上あり、そのバスも本数が少なく不便。
40 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの料金が高く、その割には乗務員の態度が悪すぎる。駅前の朝夕の混雑を減らすためにも、利用者が利用しやすい環境（バス料金の値下げ・本数を増やす・乗務員の対応など）になるよう、市から奈良交通へ呼びかけてほしい。 ・駅前の環境整備が必要だと思います。特にファミリーマートのある方。道も狭く環境が悪い。
60 歳代	女性	今の榛原駅のバス停の屋根をどう思われていますか。私はバスしか使わないのですが、雨や雪の時は何の役にも立っていません。もう少し考えていただけませんか。あれではずぶ濡れになりますよ。まだ前の方が良かったかもね。お願いします。
70 歳代	男性	福祉のバス停について、バスを降りて病院に行くまで高齢者にとって道中が狭く危険なので、もう少し安全なバス停を設けてください。
70 歳代	男性	もう少し僻地のことを考えてほしいと思います。また交通（バス）運行についても考えてほしいと思います。
70 歳代	女性	市民バスの時間や路線の増加（町の方まで出て行ける）。防災の体制強化。
70 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前のバス待合場の屋根はなぜ高いのか。雨の日は待ちづらい。どこに立っても雨にかかる。荷物を置く所がない（濡れて雨が掛かる）もう少し低くして雨をしのぎやすくしてはどうか。

		・市役所前交差点に信号機をつけてほしい。車の多い時は困る。
70 歳代	女性	田口方面はバスがなく買い物に不便、田口方面行き大野迄は切り捨てられて、生活しにくい。
80 歳以上	女性	大宇陀～榛原間のバス料金、温泉入浴料など、高齢者料金を考慮してほしい。
20 歳代	女性	駅前南側が整備されたが、非常に不便。送り迎えの車など停車禁止の場所であるのに停車していたりして、非常に混雑しやすい。停車する側も悪いが、交通整備にも問題があると思う。どこが人が通れて、どこが禁止なのかが理解できない（車も）。送り迎えのピーク時は混雑し過ぎて、クラクションを鳴らす車もいるので、もう少し広くできるなら広くしてほしいと思う。横断歩道が少なくなったので遠回りしないと駅に行けないので、歩行者側からすると不便。
20 歳代	女性	駅のロータリー、きれいになったけれど滑りやすいし、屋根が少なく待っている間とか通るだけでも雨に濡れる。車も停めておけないし。バスの待合室もないし。駅の周りをどうかしてください。
40 歳代	男性	榛原駅横の踏切が危険なのに、なぜ放置したままなのでしょうか。市役所のすぐ近くののに。
40 歳代	男性	榛原駅北側の整備を進めてほしい。コンビニの誘致をお願いします。
40 歳代	女性	駅前周辺の道路の整備（細い道路を広く）。
50 歳代	男性	リニアモーター高速鉄道が奈良県を通るようにすること。リニア奈良駅になるように願っています。社会福祉自立。ゆたかなまちづくり。最新の病院づくり。地元で働けるまちづくり。クリーンエネルギーの発展。
50 歳代	男性	駅北側からのバス路線の増加、小学校付近の街灯が少ない、駅北側のエスカレーターの設置、道の駅の設置。
50 歳代	女性	近鉄線の踏切をなんとかしてほしい（高はぎ台のところ）。
60 歳代	男性	榛原駅から市民病院までの交通の便をタクシー以外で行きやすくする工夫はないか？
60 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・榛原駅前のロータリーの進入路が少し入りにくいと思う。植木の花壇をもう少し小さくしてはどうか。 ・火葬場へ行く道、山辺三より赤、人橋の間、再三通行止めになるのはいかがかと思う。これから高齢の方が多くなり、通行が頻繁になると思うので大々的に工事をしたらどうか。
60 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい道路を作るより、今ある道路や県道等の点検をし、側溝のふたをしたり倒れる可能性のある木等を切り、事故を未然に防ぐようにする。 ・農村はお年寄りの方が高齢になり、農業を支えきれない現状だと思うので、特に農地の広い地域に農業を希望する人限定で受け入れ、老後なども使用されなくなった方から買い取り、貸し出すようなシステムがあってもよい。他地域にないまたは負けない物がある程度選出し、ハウスなどで集中栽培しては？ ・入浴施設、特にみはる苑は立地条件がよいのに見晴が悪い。特に北側は木がなければ大和富士や天満台方面も見晴らせる。大きな木を伐り、花や実のなる低木にしては？ ・子どもを育てやすい市として知られるような市独自の対策を。今となっては日本全体が次世代不足。各地域でも少子高齢化が進んでいる。共働きの家庭では男女共に労働時間が延長され、帰宅遅いうえ、給料も減るという現状なので若い人たちから、結婚して子どもを育てていくのは無理という声もよく聞く。子どもを育てる楽しみを味わい、子どもに対しあたたかい心で接することができるよう、若い人達に希望のもてる施策をお願いします。そのために近くに公害のない企業を招くのも一つの方法かと。 ・老人や障害者が花火大会など市のイベントに参加（見学）、安心して見ることのできる場所が特設されていると行きたいという気持ちになる人が増えるかも。人ごみの中を歩くのは大変なので、当日のサービスで広場等提供できる人をつのってみる。 ・市内小中学校の制服で使用可能なものを欲しい人に使ってもらえる場の設定を。

		3月中おい行ってはどうか（ごみの減量対策も兼ねて）。
60 歳代	女性	榛原駅までの道に歩道がなく、危険なところが多いように思います。バスや車が通るところに歩行者が安全に歩けるようにしていただければありがたいです。赤人霊園に行く道が、4年間で3回も土砂崩れがあり、難儀しています。山の整備など防げることはないのでしょうか。
60 歳代	女性	榛原駅の南北をはさんでの行き来が、もう少し便利になるように考えてほしい、下井谷踏切1車線のところがとても混雑し、危険でいつもひやひやするし不便。
60 歳代	女性	室生口大野駅周辺の整備、スロープを設置した意味がない、高齢者にはきつい。観光客にも評判が悪い。改札まで車で高齢者が行けるように。
60 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・すでにお考えのことと思いますが、駅北側より踏切を渡り南側道路へ通じる周辺ですが、大変危険だと思います。将来、陸橋で市役所側へ通じるようにしたらよいと思います。 ・市役所前の道路の植込みの草が伸びたままです。職員のみなどで草引きをしてはどうですか。市役所は市の顔です。市長さんが先頭になり美しいまちづくりをしてください。
60 歳代	女性	室生口大野駅周辺が以前に比べて人影も少なく、暗い感じがします。何年か前にバリアフリーのためにつくった階段が利用するお客様がいるのでしょうか。多額の費用をかけて造ったと思うのですが。今までのように活気ある室生を作り、若い人、老人さんが住みやすい場所にしていけたらと思います。
60 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前の整備について、きれいになりましたが、以前より悪くなりました。バスの回数が少ないのに待合場所が少ない。雨の日など特に困る。もっと屋根やベンチを増やしてほしい。今のようでは無駄が多い。利用する身になって下さい（タクシー乗るにも傘が入ります）。真中の空間を考えて下さい。 ・一人暮らしが多くなりましたので何か安心して暮らす工夫はないですか。
70 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・榛原駅前の駐車スペースが少なくなったのが不便です。駅前には長く駐車をする人は少ないと思います。停車と（一時的に）短時間の駐車だけです。今の車線の部分も駐車スペースにしては如何ですか。 ・田舎暮らしに憧れて移住してきたものです。周りの人からは奇異な目で見られ、もの好きと言われています。ここに生れ育った人がこの地区を好きでなくて、機会さえあれば、お金さえあれば出たがっている。現実でした。今は後悔しております。昨年の12号台風では、多大に被害を受けました。なおさらこの思いが強くなりました。が私達はここが終の住みどころです。もっと多くの人たちがこの地に来ることを願います。そうすればこの思いは変わると。
20 歳代	女性	安心・安全に暮らせる素晴らしいまちになればよいと思います。住民すべての方の意識が重要なこと、たくさんの方々の協力があってこそそのまちなので、これからも一人の榛原市民として、協力できることはしていけたらと思います。
40 歳代	男性	中心道に街灯がなく、防犯上不安。何か起きてからでは困る。早急につけていただきたい。防災用のスピーカーが、山に反響して何をいつているのかわからない。地震や災害時に不安。早急に改善していただきたい。
50 歳代	女性	大野寺前に砂が山になって川の幅が狭くなって大水が出ると怖い。橋の上にところどころ穴が開いている。
50 歳代	女性	災害に強く、安心して暮らすことができるまちづくり。
50 歳代	女性	地域の安全を願う消防団。団員の選任に疑問。実際に現住所にはいなくて、地域から手当てをもらう。家事、災害が起きたらすぐ駆けつけてくれるのか。過疎化、高齢社会で若者がいないのは充分理解できるが、いかがなものか。消防団員の中にはどうみてもそこに住んでいない。
80 歳以上	男性	大規模災害に対する消防力の強化、少子高齢化への具体的対策、住民の安全への投資。
80 歳以上	女性	災害に対しての取り組みを、市民が常に認知できるよう広報誌で呼びかけてほしい。緑、自然な市づくりに、また水のきれいな市であってほしい。上流から流れてくる水が作物を作るうえで欠かせないので、危険な物（異物）を捨てないで（流さない

		で) ほしい。
40 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・こまどりケーブルだけでなく、NTTなど光ファイバーの設置が重要。 ・バス料金が安い。最終のバスの時間が早すぎる。

一人ひとりが輝き個性・創造を育むまち

年齢別	性別	意見
10 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・榛原中学校の汚いプールはいつきれいになるんですか？修理してもらえないのですか？ ・郷土の歴史的背景をみんなが知ること、新しい宇陀の未来が拓かれると思います。温故知新。
30 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が孤立しないよう、集える機会を今以上に作ってほしい。 ・子どもから大人まで農業を通して、栽培や食育の体験学習ができる場所をつくってほしい。
30 歳代	女性	<p>学校教育のレベルの低さが心配です。県内でも下の方だと聞きました。小・中と公立に通わせては、高校受験で大きく差がついてしまいます。塾に頼らなくても受験で通用するだけの基礎学力は、最低でも学校でつけてもらわないと困ります。学力向上は教師の責任です。先生方の意識改革をお願いします。</p>
30 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがいる世代を増やしたいなら、〇〇式を取り入れた幼稚園やインターナショナルな学校を設立するや中学校で一緒になるなら、私学みたいに幼・小・中の一貫教育を売りにして県内外にアピールすれば人口が増えるのでは？ ・1つのバスのルートでなぜ病院・役所・スーパー等、生活に必要な場所を通らないのでしょうか？しかも、行きと帰りでバス停の位置も違う。不便ではないでしょうか？ ・アニマルパークを活用してアウトレットやショッピングモール等お金を使ってくれる施設の建設など雇用の確保とか。農業等をアピールして体験を通じて、移住者を増やすとか。他府県みたいに若者を増やすためにマンションを建設したり、大きな公園ではなく、住宅地に小さな公園を増やしたり、せつかく乳幼児の医療費が他より優遇されているのだから。
40 歳代	女性	<p>宇陀市に住んで、やはり住みよいく感じる住環境の形成が一番重要な課題だと思います。例えば、子どもが小学校に通っていますが、一人の子が、クラスみんなに暴言を吐いたり、暴言をふるったりするのは、教師の方々は、わかっておられるのに対し、家庭を訪問して、その子の保護者に会って、お話をしただけでは、ありがたい気持ちです（以前うだテレビで、こういう内容を拝見をしたことがあるので、少し気になったので意見を書かせてもらいました）。</p>
40 歳代	女性	<p>宇陀市のテレビ放送ですが、もっと地元の小学・中学・高校生の放送部など、テレビに興味のある若い人をレポーターやアナウンサーに使う活気ある放送にしてほしい。今の放送は年寄り向けで暗く、見る気も失せる。若い子の構成で、面白く楽しんで見られる放送を作してほしい。そうすれば見る年齢層も広がるのでは？以前他県でそういう放送（子ども達で作る）を見て、とてもよかった。型にはまらず、生放送までこなしていましたよ。</p>
50 歳代	女性	<p>小・中学生の生活の様子を見せてもらっていると、やや不安になることもあります。他都市より、より良い先生方に集まっていたきたいと思います。子どもを預けるにあたって、安心な教育環境を期待しています。市以外にはいい先生方も多くおられます。ほとんど市外に働きに出ていますので、どれほど市行政や市教育に力を入れて下さっているのか、わからずに答えさせていただきました。ご了承ください。</p>
50 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスを小学生の間だけでなく、中学生になっても定時の運行時間にのせてもらいたい。自転車通学は親にとっても不安だし、車での送迎も親の負担を感じるからなるべく早急をお願いしたい。少子化で子どもも増えているようには思えないので、校区の中学生が乗れる余裕はあると思う。 ・水道代が高すぎる。桜井市に比べると2倍近く払っているように思う（上水道分）。家計の負担が大きすぎる。

70 歳代	男性	いきいきと健やかなまちづくりをすること。
70 歳代	女性	市の公共施設、室内温水プール、スポーツ関連（中途半端で利用価値なし）、低迷する地場産業、商店街の衰退。
80 歳以上	女性	近くの地区に子どもが少ない。小学生が一人もいない。市の中心が片寄りすぎる。

地域資源を活かした産業・交流振興のまち

年齢別	性別	意見
30 歳代	男性	就農支援や若い作家などが作業できる場所の提供など、他にまちにない特色を出して行ってほしい。給食についても冷凍食品はあまり使わないで、地域の無農薬野菜などを使って作ってほしい。宇陀市の給食は他のまちと違って良いと思うように。若い（20代から40代までの）世代が住みたくなるようなまちを目指して取組みを行っていただきたい。
30 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・荒れた農地の活用：貸し農園として活用し、農業の知識・技術の継承の場として、希望者に貸し出す。市役所は賃料の上限を決め賃料は持ち主に。 ・文化財：補修程度にとどめ、自然のまま残す。観光用に道標だけ、わかりやすくしておく。 ・観光：新しくひっそり開業しているパン屋や飲食店など、新旧店舗の紹介、フリーペーパーの作成。道の駅やアニマルパーク、葛の館など観光客のところへおく。弁当を持参したり、テイクアウトされた観光客が座って食べられるところの設置。晴れの日はいいが、急な雨や寒い日にしのげて食事を持ちこめる場所の提供。 ・AEDの設置、指導：各集会所へのAEDの設置。取り扱い方法を年1~2回、住民に集会所単位で行う（消防署の協力が必要になるかもしれない）。 ・新エネルギーについて：アニマルパークへの風が太陽光発電の試用、実施（景観は損ねない、舎の屋根で太陽光パネルの設置など）、公共施設と自家発電（風か太陽）でまかなえていけるといいので。それから各家庭への普及や情報提供をする。
40 歳代	男性	農業や林業を活性化する。休耕地の活用をしやすくするほか、ファーマーズ・マーケットなどの充実。また食の安全を守っていくため、放射性物質の検査は早急に実施する必要がある。環境問題の取り組みとしては、ゴミゼロを目指す（リサイクルや減量化では心もとない）。毛皮などの地場産業でなく、根本から人権問題を解決する産業の創出、雇用の育成を求める。
50 歳代	男性	高齢者（退職者）が多くなっていく時代を迎え、農業の後継者が少なくなっていることで、退職者による経営で農業の地域集団化を行い、退職者中心による農業経営をすることで退職後の仕事を確保し、将来は収入を増やすような経営を目指し米作りのみならず、野菜づくりに取り組み（特に水耕栽培等の新技術を目指し）、収入を得るようなまた市もこれを補助するような施策を実施してもらい、これからの退職者の生きがいを感じる農業経営を支援してくれる制度を作ってほしい。
50 歳代	女性	農業後継者を育成する。
60 歳代	男性	農林業と商工業の連携による新たな産業の振興を行い人口の増加、娯楽設備の充実を行う。
60 歳代	女性	動物禁猟区域のため、畑田にシカやイノシシが毎日のように出てきて作物を荒らしたり、家の庭まで来てフンをしてあるため衛生的にも良くない。動物保護も大事ですが、人間の暮らしも大事にしてほしいです。自然にも良くないと思います。
60 歳代	女性	毎日、旧畑の鳥獣被害が大きいので山と田畑の境に丈夫な柵（金網）をしてほしい。
60 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・農村環境の整備以前に田畑を荒らす野獣（特に猿）に四苦八苦する毎日で、農業をする意欲が萎えてしまっている。何とかならないものかと頭の痛い日々である。村人全員の声である。 ・デマンド型タクシーを重宝していると高齢者の人からよく聞くが、市立病院までいくのが電車で行かないと駄目なので病院通いが大変である。これ（デマンド型タクシー）が病院までであれば非常に便がよいのですが。今後、検討していただければと思います。

70 歳代	男性	特産品、特に農産物のブランドアップに対する支援強化。
70 歳代	男性	家族の後継者が街を出て減る一方で、農地・山林の荒廃が目立つ。野獣（特にイノシシ）が繁殖して、耕地を荒らされる。
70 歳代	男性	農産物、山菜、薬草などのブランド品を育て、自然と共に生きる街をアピールする。
70 歳代	女性	過疎化の波が押し寄せ、老人ばかり。耕作放棄地が増え、子どもの声がかたくなに聞かれない、今後に夢がもてない。若者を呼ぶために仕事のできる場の誘致。
80 歳以上	男性	この地域はサラリーマン域になりました。農業・林業は、お荷物状態。笛吹けど、舞う人は少ない。
40 歳代	男性	山の針葉樹を広葉樹に植え替えるだけで、自然環境・水質・災害・住環境や人の心に関する問題の大部分が解決できると思われ、本当に対策を打つべきは、種々の問題の根本原因であり、82 もの（施策の）数は（必要）ないと思います。地域ぐるみの、人と人との日々の融合の中で育った子どもが、地域の元気な企業に就職し、地元の継続的な反映を担うと言う好循環を形成するために、5 つの重点施策を選びました、(I～V)のセグメントや市の組織の枠にとらわれない、効果的な基本形計画の立案を期待しています。
60 歳代	男性	早いうちに林業を再生させたほうがよいと思う。後から手を加えられるようにゆとりをもってほしいと思う。
60 歳代	男性	・木材の廃物が宇陀市榛原の文化会館・図書館にしてほしい。建物をもっと大きくしてほしい。 ・三井アウトレット・ストアをもっと売る店にしてほしい。
60 歳代	男性	美しい自然景観を生かしたまちづくり、農林業・観光の融合とPRの強化による活性化。
60 歳代	男性	工場誘致、農林業振興。
60 歳代	男性	事跡調査を整備してまちづくりの基本資料とし、調査検討しやすくする。耕作放棄地や市の90%の山林を自然エネルギー利用促進する。花粉症のない宇陀市になれば自然に住民が増えると思う。市役所の位置は災害に弱い所にあり心配。
50 歳代	女性	駅周辺が整備され、きれいになりましたが、華やかさというか、賑やかさがありません。店舗の充実など人が集まる場所になるといいです。
50 歳代	女性	榛原駅周辺の商店街の活性化。
70 歳代	男性	榛原地区、榛原駅周辺に活気がない。
80 歳以上	男性	榛原駅商店街の活性化、宇陀市役所南側の道路の補修、菟田川商店街道路を一方通行にして活性化を考えてほしい（駐車して買い物ができない）。
10 歳代	男性	宇陀市の象徴をつくるべき。保養施設などを有名にして、他の市や県から来てもらい、宇陀市の魅力を感じてもらい、美穂苑などが有名になればもっと観光に訪れる人が増えると思う。
20 歳代	女性	企業誘致による雇用の創造と確保、遊休地活用に係る利用制限の撤廃、若者の居住定着の促進施策強化、観光施策はごみが増えるだけで効果なし、宇陀の特産品を大量に生産製造販売できる施策をメジャー化。
20 歳代	女性	宇陀市はお年寄りの方が多くハイキング等に訪れる人が増えてきていると思います。これからもっと多くの人に宇陀市へ来てもらい、もっと施設や公園等を増やし、活性化していくといいと思います。
30 歳代	女性	宇陀市は主に思いあたる観光名所も産業もなく、生まれた時から榛原に住んでいますが、他市等の友人に対しても「何がある」とすすめることができず、夏の花火大会などくらいですが、それは他でも行われています。今さらですが、伊那佐地区のやたがらす神社内のサッカーから贈られた像ですが、神社の雰囲気合っておらず、地元であったため私は気に入らずそれからは参拝していません。バランスが大切です。あと、市役所近くの的場酒店さん前の踏切ですが、車での右折をする方がまだまだ目立ちます。看板もあるのですが、再度利用者への指導や、見てわかりやす

		いように実施をお願いしたいと思います。
30 歳代	女性	観光に力を入れ来訪者を増やす。伝統行事を市外にPR。教育施設の改善特に幼少のトイレ手洗い場。若者が安心して育児、家庭を持てる環境。教育にお金をかけること。コピー、書類、備品まで無駄を省いて有効に使う。
30 歳代	女性	「宇陀市ってどんなところ？」と聞かれた時にひと言で「〇〇のまちよ」と言える特徴がなく、淋しく感じる時があります。今後、「宇陀市はこの件について市民一丸となって取り組んでいるのよ」と皆が言える何かがあればいいのと思います。共通の体験というか、共通の認識が1つあるだけでも、自分の住む場所に大いに愛着が湧くのかなあという思いです（裏を返せば今はそういったことが全くないと思うのですが）。
30 歳代	女性	もっと宇陀市の特産品や特性をアピールして活性化させてほしい。宇陀市になってから、何を決めるにも榛原が基準となることに不満を感じる。
40 歳代	男性	観光地として、松山城を再建しより多くの人に宇陀市を訪れてもらう。そして地元企業や商店の発展、および人材雇用に繋がり宇陀市の発展。何か宇陀市が企画し一大イベントを企画しなければ発展は見込めないでしょう。
40 歳代	女性	核家族で、高齢者、障害者の取り組みはわからないので、「どちらともいえない」としました。人口増加、企業誘致、農地を活用（山林）もした。多角的経営が望まれます。「自然豊かで高原地帯な宇陀市に住みたい」「宇陀の田舎に住んでよかった。こんな誇れる〇〇の取り組みをしているまち」と言われる、言えるようなまちにしたい。全国に発信できるような農業林業の取り組み、若い世代のアピール、従事者ができるような取り組みがあれば、研修して実現してほしい。
40 歳代	女性	宇陀市に住んでよかったと思えるような特色のある施策や行事などがあればいいと思います。地域一丸となって宇陀市の知名度向上を目指し、観光客が訪れたりするイベントなどを考えて、市の活性化につながるようにしていけばいいと思います。例えば、大阪マラソンや神戸マラソンが成功したように。
40 歳代	女性	メイプルパークは菟田野にメリットがあるのか？もっと市民に情報を公開して、有効に活用してほしい。税金の無駄使いだけにはしないように。しょぼい（貧しい）内容だとリピーターなどは訪れないので、きちんと観光客に来てもらえるようなところに。周辺も、もう少しなんとかしないと本当にしょぼすぎると思う。
50 歳代	男性	子供のもり、アニマルランド、室生寺、大宇陀、松山、大野寺温泉など、鳥見山も含めた観光スポットとしての連携とPRが必要。近鉄は神戸（三宮）まで延びており、多くの観光客を呼ぶことができるはず。一泊しても楽しいまちづくり。看護学校や美大（音大、芸大）など、高等教育機関の誘致を。文化と自然、若者、老人によいまちづくり。ファッション性もよく考えたまちづくりが大切。無駄づかいのない（駅北側の道路拡張などは無駄と考えるが）。
50 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> 法人税収入の増加ができる商工業会社の誘致。 産廃対策を加味した安全なまちづくりで住人を増やす。
50 歳代	男性	宇陀市は宇陀市の置かれた条件を利用して、人口減を食い止めたり観光客を増やすべきで、無理をして大きな事業を行う必要はない。
50 歳代	男性	環境、福祉もよいですが、まず第一は働く場を1社でも多く企業を誘致し、税収も入るように考えるべきだと思う。また大和高原の特色をもっと強く売り込み、それに伴い物産品など売れるよう、他の地域も研究すべきで、いろいろやっても何もあまり残らないと思う。これは奈良県も同じだと思います。まず重点的に絞り込み、全力でやるべきだと思います。
50 歳代	女性	観光客がどんどん来てくれるような魅力あるまちづくりをしてほしい。
50 歳代	女性	又兵衛桜の時期に多くの方が来られますが、町中への散策道が整備されていないため、その場所だけしか訪れていない。静岡の河津桜のように、遊歩道に桜を植え町中まで足を運んでいただき、地元の活性化につなげていけたらいいのではないのでしょうか。
60 歳代	男性	駅前に道の駅を造る、野菜などの特産物を売る、美榛苑に露天風呂を造る、駅前のポールが邪魔、フリーマーケットの回数を増やす、天満台の中にスーパーがほしい、

		桜井市のように市職員をパートにして、人件費を節約。
60 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・宇陀市はどんなまちを目指しているのか。どんな特色のあるまちなのか。明確なビジョンがないと思う。 ・宇陀市の「うだ」がどんな意味のある地名なのか、なじみがもてない。誇りがもてない。歴史的な意味とともに、誇れる宇陀にしていくにはどうすればよいのか。
60 歳代	男性	宇陀市の特産品の育成など農林業の活性化への取組みをもっとしてほしい。集落単位で手造り味噌やジャムなど宇陀市で採れる作物で加工する教室など開催し、最終的には加工所を運営するとか。料理の得意な女性を集めB級グルメの開発など。住民パワーを結集できる「しかけ」をしてほしい。私も機会があれば参加したい。
60 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・宇陀市には駅が3ヶ所（1駅は特急停車）ある。 ・国宝等の歴史的資源がある。 ・自然豊かな環境がある（山、川、桜、すずらん等）。例えば上牧町は駅も名所旧跡もありません。でも、様々な工夫により財政再建され、新たな取り組みにチャレンジされています。大和郡山上田市長は県の記紀万葉プロジェクトにあわせ、映画製作、記憶力テスト大会、語りべ等、様々なアイデアと工夫により同市の活性化に取り組まれております。県観光局も「巡る奈良」をキャンペーンとし、様々な対策を打ち出しております。知恵をだし汗をかき工夫すればもっと活性化した良いまちづくりが可能と思われます。
60 歳代	男性	自然環境を損なわず、特に室生ダムにある東海道自然歩道を整備し、四季を通じて老若男女がランニングやウォーキングを楽しむ周回道路ができれば他府県からの参加者も来ると予想される。
60 歳代	女性	もみじ山公園、室生山公園など、お金をかけすぎでは。市民の何パーセントが利用しているのか。室生ダム周辺、濡れ地蔵など、ゴミが散乱し、景観を損なっている。活性化を叫んで事業を誘致するくらいなら、現在ある文化財や史跡を整備してPRした方がまだましだと思う。（施策番号75：文化・芸術について）毎年実施されていた文化展から市が手を引くという。高齢者の生きがいを奪うだけでなく、若いリーダーの育成もできない。他の市との交流も大事だが、市民が住んで楽しく住んでよかったと思うまちづくりを希望。
60 歳代	女性	遠路、史跡や景観に魅せられ観光ハイカーが訪れるのをよく目にします。しかし当地は宿泊先やみやげ物といって特に受け入れ態勢が整っているようには見えません。それと、大きな企業もなく財政困難も耳にします。企業誘致と観光産業に力を入れてほしいと思います。
70 歳代	男性	「宇陀においでよ 田舎暮らしPR」6000枚を大阪難波駅でさがすが、どこにあるのかさっぱりわからない（2012.3.17付朝日新聞朝刊）。知人に数枚渡そうとしたが、残念。市民へのPR不足。お寺や神社へのPRや援助支援で特定化している。一番多い広報でも、地元でも何もしていない文化財は宇陀市の宝であるが、PRの対象外。同じ対象外とするならば、すべての神社や寺院に適応すべきである。職員の横柄さが鼻につく。特に係長以上の者。わしらの税金で給与をもらっているのでしょうか。このアンケートも職員が作ったのか。設問作りに市民の参加がなかったのではないか。だから職員、議会人、市幹部の他に同数の口うるさい人を入れて、このアンケートをもとに後期基本政策づくり計画を市長に答申するべき。これがなければ、難波駅の「PR紙」と同じことで、市民としての協力ができない。
70 歳代	男性	県国の公共機関の誘致、企業のスポーツ部門、スポーツ団体の誘致。
70 歳代	男性	宇陀市の発展のためにポイントとなるような企業誘致を図る。自然環境の清浄な空気、豊富な清水など条件を満たす企業誘致の検討を。地場産業として何が宇陀を支えていくか検討する必要がある。目先の環境開発として駅前の観光地らしさ、訪れた人達が再び訪れるための魅力づくりが必要。例えば宇陀特産店。何かを買って帰られる、食べて帰られる、そんなものがほしい。
70 歳代	男性	現在の経済状況から企業の誘致は到底無理と思われる。榛原駅から大宇陀、菟田野方面へは何の進展も見られません。サンクオークワがあるだけの現状です。昔からの土地を絶対に手離したくないという資産家が多いためです。昔近鉄の大宇陀、菟田野へと篤志が頑張ったが無理でした（土地の問題で）。大企業の社員寮等が誘致できないでしょうか？

70 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が定住できる環境づくりを進めていくため、宇陀市内地域で多くの空き地があり、市としても市民の方々が多くの方が、若者、中年の方が市内では働くような職場がなくなり、市外に出てゆき働くことで定住人口が毎年減少する。地域内の多くの空家、家の活用体制をつくってゆき、市民働く職場づくりとして、職員の人員削減後の体制として→OB→他の施設へ派遣していたが、先ず小企業の募集派遣、職員として残っていただき、空き地、家、借地使用の企業体制づくりに協力を願いたい。まず企業訪問の実施、営業として色々な企業に出向。 ・市立病院、新病院も建設が進み向上する中、最近高性能 CT が導入され精密な検査ができるようになり、医療体制の充実が前進することは患者さんにとっても、病名が的確に捉えられることは安心して治療でき、また市立病院にとっては医療体制の前進であり、今後とも色々な方面で期待しています。
80 歳以上	男性	アンケートの 5 番 (V) にあるまちづくりを主体に進めていくことが一番。
80 歳以上	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の取り組みを PR 不足。それを利用する方法がわかりづらい。 ・地元の産業に力を入れ、人を定着させる必要がある。 ・観光 PR ができていない。これだけ色々あるのに集客が下手。 ・役所と住人が身近でないと思う。本当にお役所仕事、と思うことがいっぱいある。
80 歳以上	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・一世帯あたりの人口をもっと増やす。 ・後継者を育てる (全てにおいて)。 ・自然を活かし、教育、史跡のアピールを幼児から教える。 ・先人の教えが綿々と受け継がれていることが凡てに見られ老齢としては嬉しい。 ・住みよい何時までも生きていたいまちです。どうもありがとう。これからもよろしく。
10 歳代	男性	将来仕事に就いた時を考えてみると、多分大阪に出て暮らしていると思う。榛原から大阪に出るのに 1 時間くらいかかるけれど、それでも榛原に住みたいと思えるようなまちにしてほしい。
10 歳代	女性	隅々まで行き渡る行政をお願いします。地元で就職するところがないので、若い人たちが宇陀市から離れていくと思います。なので働ける場を作ってください。
20 歳代	男性	自然に対して、過保護になりすぎ。新しいことに対して、受入れがないように思える。これをなくし、とても広い土地があるのを工業や工場を受け入れることで雇用が発生し、さらに豊かな街になると思います。参考とする市は沖縄県石垣島のまちづくりはとてもよいと思います。
20 歳代	男性	京都に学生として 4 年間下宿していた。京都では、市や府ではなく、区役所が主体で町を盛り上げる取り組みを行っている。旧家や旧町家を利用したカフェや旅館、バー等古きを温め新しきを取り入れる姿勢 (温故知新) が鮮明だ。同じ奈良でも、奈良町や今井町などはそれを模倣した取り組みが多くあると聞く。榛原にも町屋は多くある。使用してみたいか。大学人来てもらうことや幾中央の下宿地として補助を行うなど、できることは多くある。
20 歳代	男性	市の発展は若者の定着率を高め、若年人口を増やすことにあると思います。そのためには新しく雇用を創出できる産業の育成が急務です。例えば森林資源を活用したバイオマス発電所の建設 (下枝処理で森の整備もできる)。休閒農地で大規模農業経営し、大和野菜生産の一大拠点をつくり、生産から加工販売まで手掛けます。観光産業としては歴史上の人物にまつわる観光コースをアピールして“歴女”を呼びこみ、健康やスポーツをメインにしたスポーツツーリズム、医療ツーリズムを推進して中高年を誘うなど、工夫が必要です。ただ単に施設を作るだけでなく企画で勝負し、活気ある市をつくっていただけたらと思います。どうかよろしくをお願いします。
20 歳代	男性	若者を転出させないために、市内で働ける場所を作ってほしい。余っている土地、有効に使っていない土地が多くあると思うので、企業の誘致などをして、働けるようにしてほしい。市内に赤ちゃんの産める産婦人科や脳外科をつくるなど医療も充実させなければいけない。電車が菟田野や大宇陀にも通っていればよかった。
20 歳代	女性	全国から人の訪れるように観光宿泊施設を充実、常設のマラソンコースを造って話題性のあるイベントを企画、企業誘致に力を入れ、Uターンをうながす、宇陀市の

		ブランド、特産品のアピール、有名人の観光大使（例 和田アキ子）。
20 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人達を呼び戻すのが大事。動力になる。榛原内でも若者が遊べる場（入りやすいカラオケ店を希望）を作るといいのでは？ ・商店街がすたれてしまっているのが、宇陀のお土産屋さんを作ってみたら。今でも駅前にもそういうお店がない。このお店では色々な宇陀産のものや手芸品・加工品など、誰でも自分がつくったものを売れるようなお店。小学生なども授業でつくったものを販売したり、教育にも利用できるかと思います。 ・ツイッターでは宇陀のまちづくりについて、色々している人たちがいるので、その人達と全面的に協力したらいいと思います。つまり、ネットをうまく利用して下さい（かついたろう議員もその一人）。
30 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が住みよいまちづくり。 ・教育がすぐれたまちづくり。 ・企業を取り入れたまちづくり。 ・上水道が整備されたまちづくり。 ・農業、林業、産業がいかされたまち。 ・夜間でも安心して歩けるまちづくり。 ・将来子どもが住みたくなるまちづくり。 ・税金、公共料金が高いので、誰もが住めるまちづくり。
30 歳代	男性	ずっと続いている若者離れを止めてください。宇陀のPRを強化して頂いて、県外・県内の方への認知度をあげて頂けたらと思います。
30 歳代	女性	榛原にも観光地はあるのだから、もっと整備やPRをして、観光に来てもらうよう工夫をすればよいと思う、（大宇陀や室生など）他のところはやっているのだから、榛原もしないともったいないと思う。
30 歳代	女性	野菜や桜、温泉で大きな観光名所になってほしい、にぎやかで活気あるまちづくり。放射能が心配、奈良でどのくらい出ているのか毎週でも毎月でもわかるようにしてほしい
30 歳代	女性	宇陀市、少子化が著しいと聞きます。今後の宇陀市の経済が不安です。高齢化、少子化、少しでもくい止められるような地域の活性化、人を呼び込めるような取り組みが重要になってくると思います。宇陀市に来てお金を使って帰ってもらえるような商業施設の充実、また雇用の場を増やしていくなど、経済が潤うような取り組み。難しいですが必要、重要だと日ごろ感じています。
40 歳代	男性	大宇陀の街並みなどをPRして観光客を呼び地域活性化、医療機関・保育施設・道路整備など住みやすいまちづくり。
40 歳代	男性	新たな産業を生み出すまちづくりを進めて雇用の拡大と定住の促進、子どもの学力アップ、医療の充実など住んでもらえるまちづくりを目指して行ってほしい。
40 歳代	男性	美榛温泉、一般の風呂、市営より悪くなった。色々なサービスにおいて、レストランの営業時間の短縮が淋しい。市営の時のほうが良かった。今の会社は利益の追求でお客のサービスを忘れてる。段々と利用者が減少である。このままでは閉館に追い込まれる。支配人の切り替えが必要。美榛苑を利用したいが？
40 歳代	女性	色々な会社の誘致を進めて下さい。
40 歳代	女性	室生に住んでいます。たくさんの史跡や芸術などを楽しめる場所だと思うのですが、ネックになっているのは交通手段です。せっかくの施設も自ら車に乗れないと行くことができません。宇陀市は一事が万事、同じ感じがします。一つ一つはいいのですが、点と点が線で結ばれません。宇陀市独自の観光バスや観光ルートを作成し、どんどん外から人を招くようにすればよいのにと感じます。また、人生最終的に暮らしたいと思える地になることを望みます。楽しく安心な老後のあるところが作れたら、さらに人口は増加することだと思います。
40 歳代	女性	お年寄りだけでなく、若い世代が過ごしやすい宇陀市を目指して行ってほしいです。若い世代が減少していく中、このままではますます若い世代が他市に流出していってしまうと思います。この市に住んでいて、もっとメリットを増やし、若い世代を地域に呼び戻す取り組みに特に力を入れて行ってほしいと思います。

40 歳代	女性	若者が他へ流出する理由 ・刺激がない。 ・遊ぶ所がない（飲食も） ・有名大学、高校がない。 ・就職先がない（大手企業など）など。 これから誘致、あと、伝統、自然を大切にすることがために、前に進めていない気がする。
50 歳代	男性	地元で消費できる仕組みが十分に構築されておらず、他市に消費が流れている状態を改善しなければ、観光客を呼び込むなど夢のまた夢。（昼、夜のお食事処や土産品店はどこにあるか）。それができないなら、農林業の地産地消に生きのびる道を求めざるを得ない。
50 歳代	男性	職場等を宇陀市内で確保し、生活基盤を市内で築くことができる環境をつくるのが大事。スポーツ施設、大学等を誘致し、市全体が盛り上げることで人が集まり活気づくのではないか。そのためには安心して気持ちよく住めるまちづくりが不可欠。
50 歳代	男性	若者が宇陀市から県外へ出る（就職）ことが多く、ますます、まちに活気がなくなってきている。何とかしないと（限界集落ならぬ）“限界宇陀市”になってしまうので、雇用創出のためにもネットを利用するとか、企業訪問する専属の営業マンを数名置き、足を運び交渉していくことが大事ではないか。
50 歳代	男性	人口の増加を目的とした市街化調整区域の見直し、雇用拡大に向けた企業誘致。
50 歳代	男性	働く場所もなければ文化もない、若い人たちがまちを出て行くのは、そんな市に対する評価だと思う。
50 歳代	男性	・地域の昔ながらの風習を継承しているが、地域の人々が好きこのんでしているか疑問である。 ・古い風習は時代と共に無くしていかないと若い人達が住みづらいまちになり高齢化するだけである。
50 歳代	男性	・これから高齢化が進むにあたり、近場での職のあっせん。 ・若い人も近くで働ける環境がない。 ・天満台、あかね台が年々ただただ古くなるだけ。住む魅力に欠ける。 ・美榛苑をもっと宣伝すべき。 ・天満台の近くに近鉄の駅を作るべき。バスが不便（急行とかで榛原についたらすぐ前に出てしまう。ダイヤが気になる。一部が大変不便）。
50 歳代	男性	今後、若者が宇陀を出ていき、若者が少なくなるので、仕事、通学など不便なので、働く所、企業など誘致して若者が定住できる環境づくりをしないと人口減少に歯止めがかからない。年寄りだけになり、現状では宇陀市は発展しないで駄目になると思う。
50 歳代	女性	今の榛原には、宿泊施設もないに等しく、ただの通過点にしか思えない。駅前の設備も不満。商店街にも活気がなく、何のための整備かと思っている。また、子供の森、アニマルパーク等、交通手段も車しかなく、近くに観光スポット、土産物店もない。これでは他から観光客を呼び込むことなど難しいと思う。若者の働く場所もないのに、この宇陀市につなぎとめることは非常に難しいのではないか。このまちならではのアイデアを出して魅力あるまちづくりにしてもらいたい。
50 歳代	女性	若い人の仕事がないのがつらい。何かあれば帰ってくるのに。
50 歳代	女性	自然の美しい場所にせっかく広場（公園）を整備して頂いても、子供の森は駐車料金があまりに高く、「ちょっと散歩に行く」という気になれません。せめて 200 円まで若しくは 50 円くらいならもっと活性化するのは？フレンドパークは駐車スペース少なく、部外者に対して閉鎖的に感じたことが何回かあります。美榛苑は湯の質の良い温泉で有難いのですが、別の地域に住む高齢の親を連れて行っても 500 円とは。障害者なども割引があればもっと人にやさしい施設というイメージがもって頂けるのでは？高齢者ドライバーが多く（それは地域性ゆえ仕方なく）、危ない目にあうことも度々。バスの活用など取り組んで頂いていることの充実をよろしく願います。

50 歳代	女性	色々な問題点もあると思うが、企業誘致して若い人の働く場所の確保が必要ではないか。
60 歳代	男性	榛原の墓地の「赤人れいえん」のトイレを使用させていただいたとき、大変汚れていて、使用できませんでした。特に墓地等のトイレなどはきれいにしていただきたいと思いました。よろしくお願いします。
60 歳代	男性	雇用の創出に期待。
60 歳代	男性	地場産業の育成・発展に注力し、雇用環境を整備する施策を充実させる。観光地を目的とした宇陀市への訪問の取組みとして、桜井市等隣接する市と連携・交通機関との協力を要請し、観光産業の充実を図る。
60 歳代	男性	若い世代が就業できる会社等の誘致。二世帯同居が可能な住環境の支援。小中一貫教育による充実した教育環境の整備。農山村の自然環境を生かした教育プログラムやレクリエーション施設の整備と都市圏との交流など。過疎化を食い止める施策の実施を行い、魅力あるまちづくりをしてもらいたい。
60 歳代	男性	心配なことは人口減少です。古くは聖徳太子の時代は宇陀は重要な地域であったと聞いています。動物が多く狩場だったようです。今も野生動物が多く、農林業が被害を受けていますので、シカ、イノシシ等の肉のブランド化（太子肉）等する。また宇陀市は近畿で一番犯罪の少ない市（少し前に雑誌で読んだ）等で宣伝していく（宇陀市の高原、山、川等の自然も含め）。空き家の宣伝は良いと思います。
60 歳代	男性	若年層をあらゆる施策にとりこんで、永住したいと思うようなまちづくりに取り組んでほしい。
60 歳代	女性	働く場所、観光の強化、市内で出産できる体制、子どもの入院施設、子供の保育体制。最優先事項は、宇陀市の人口が減少していること。
60 歳代	女性	大宇陀地区にある重要伝統建造物の街並み、および周辺の整備と観光に力を入れてほしい。
60 歳代	女性	平成子供の森公園や美榛苑、鳥見山などもっと他県の人にいろいろ知ってもらい、あまののゆ・アニマルパーク等いろいろ遊ぶ所があることを知ってもらったらいと思います。
60 歳代	女性	美榛苑はお湯が良いので、レストランとかもっと若い人を使って、マナー、服装他、元気がもらえるように風呂場を広げるなど工夫してはどうですか。榛原駅前ですが、もっとすっきりならないですか。前の方がすっきりしていたような気がします。美しいけど、すぐ、おしゃれな感じにお願い致します（植栽とか）。バスからおりて電車に乗るとき、タクシーとぶつかります。
60 歳代	女性	本日、高取町のひな祭りのイベントを楽しんできました。まちの人達の活気を肌で感じてきました。宇陀市も何か全国にアピールできる観光を早く取り組んでほしい。そして山や木を利用し、どこにもない目立つもの、リピーターが毎年来てくれるような観光を考えてほしい。そして企業誘致等、人が集まる市にしてほしい。
60 歳代	女性	若い人がどんどん他所へ出ていき、子どもも少なくなり、宇陀市で働ける場所が出来ないものか。
70 歳代	男性	図書館2階を集合場にして常時交流できる場にする。決まったことは担当課に口頭または文章で知らせる。
70 歳代	男性	地元で就業地としての場所、企業誘致などができればありがたい。
70 歳代	女性	特に施策番号 77～82（観光誘致、Uターン）を大切に考えてほしいと思います。
70 歳代	女性	文化活動を盛んにし地域の人々とのつながりを増やし、お互いの絆をつくり、高齢者の閉じこもりをなくし、誰もが社会に参加できるようなまちづくりをしてほしい。そうすることによって、ボケを防止し、医療費の節約につながると思う。長寿社会の日本になった以上、すべての人が生きがいのある人生を送れるようにしたい。

70 歳代	女性	菟田野町で楓の郷作り創設に夢を託している、このまちは国宝の神社がありながらパッとせず、残念に思っていた。観光客の集客、地場産業、特産物に力を入れて活動拠点を作ってほしい。
70 歳代	女性	施策番号 23、24、25、51、52、55、62 が特に気になる設問です。62（農業後継者の育成）のように、担い手を育てていくことが発展のもととなると思う。特に各家庭では私達のように高年齢にとってはあまりに勝手な思いの人が多くなり特に若い母親に言いたい。だんだん住みにくくなる社会になると思う。機会あるたび講師などで教えてほしいと思います。子供が大きくなっただけで、頭はあるが常識ない人があまりにも多いので心配しております。
70 歳代	女性	若者が住めるようなまづくり。働く場所や遊ぶところがないため、都会に出ていく町には老人の姿が目立ちます。活気がないと感じます。
70 歳代	女性	若い人達が生活できるように考えて下さい。一人暮らしの高齢者が安心して暮らせるようにお願いします。
80 歳以上	女性	初めてこの町に来たときに静かなよい町だと思いました。榛原駅の駅前広場は人工的なアートでさびしそうに感じます。新しいものと古いものとの使い分けをよろしくお願いします。

市政全般について

年齢別	性別	意見
20 歳代	女性	限界集落でお先真っ暗、少しでも活気ある村にしてほしい。
20 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街のさびれが激しすぎて、見るのもつらい。大宇陀、榛原に比べるとはるかに劣っている。服屋、ドラッグストアがなく不便。 ・榛原は美榛苑、やまと座。大宇陀はあきののゆ。菟田野は銭湯すらないですよ。 ・自分には知らないことばかりでえらそうに言えないところがある。でも菟田野の人は優しい人ばかりで感謝している。 ・高齢者にスポットを当てすぎている。若者の住みにくいまちになっている。 ・自分は介護の仕事をしているが、忙しすぎて辛い。 ・第2の夕張とよく耳にする。 ・田舎なので仕方ないと思うが夜になると真っ暗で淋しい。ドラッグストアやスーパー、スポーツジムなど夜の時間を有効的に使いたい。病院が少ない（午後 9 時まで等で仕事の後に病院に行きたくても行けない）。 ・スポーツジムを作してほしい。
40 歳代	女性	20 年以上前に榛原に大阪から引っ越してきました。緑が美しい自然豊かな環境で子供をのびのびと育ててまいりました。町は少しずつ発展すると期待していたころもありました。しかし市町村合併と共にサービスの低下を感じるようになりました。子ども達も大きくなり、進学や就職で市外に出て、魅力を感じる町というには何かしら高齢化の進む町のように思われます。大きな市にもかかわらず、人口の減少には歯止めがききません。公共の窓口に行くとき電気が消えていてとてもくらいイメージを持ちました。明るく元気なまちづくりを目指してほしいと願います。
50 歳代	男性	市長が榛原の人だからかもしれないが、大宇陀や室生より、榛原に施設などの面で力を入れているように見える。
50 歳代	男性	榛原以外の、ほろびゆく地域の何らかの対策はないのか。
50 歳代	女性	山間部の菟田野は宇陀市の孤島。忘れられた地域に思います。この地に若い人、子どもの声が聞こえる住みよい地域にしてほしいです。
50 歳代	女性	市町村合併に伴って行政の方針が見えてこず、色々なことを打ち切り、弱者を切り捨てているように思います。何を大切に、まちづくりを進めていこうとしているのかわかりません。この地域にいる一番の弱者が生きやすいまちになれば、すべての人が住みよくなるのではありませんか。その弱者を誰にするのかは行政の方が決められるのですが、住みよいまちとは障害者、高齢者、子どもすべてにちゃんと

		居場所があることで、すべての住民が生きやすいまちになるのだと思います。
60 歳代	女性	合併して宇陀市が誕生してから数年たつが、よかったという意見が聞かれぬ、それぞれの町村のよさをもっと引き出すべき。市として過疎化、若者の職場、地場産業の取り組みなど、せつかく市が誕生したのだから、住みやすくなったと思える積極的な政治を望む。
60 歳代	女性	室生大野にイベントをして下さい。県民グラウンドを使用して下さい。室生で催し物をお願いします。
70 歳代	男性	行事などを地区別にやっていて、(合併後も) まだ町が一つになっていない気がする。春のマラソン大会も町全体で応援、見学できるようにしたほうがよい。
70 歳代	男性	市役所へ行っても、テレビでの議会中継を見てもやはり榛原や室生が話題の中心になっているような気がします。まちの話題にしても大宇陀や菟田野の色々な問題をもっと取り上げて下さい。
70 歳代	男性	室生地区では住民(老人)の死亡により、日を追い月を追って人口の減少、空き家の増加となり、イノシシ、サル、シカ、アライグマによって人間社会が動物社会に変わろうとしています。何とかこれ以上野獣が増えないよう助けて下さい。今住んでいる場所で静かに死を迎えることができるよう力を貸してください。
70 歳代	女性	はっきりいって「宇陀市」になってから、何もいいことがなくて、前より(町や村であったときより)悪くなったこと。不便になったことばかりです。でも不平・不満をぶつけるだけでは進歩も改善も望めません。世界的にもあらゆる面で閉塞感が増すばかりの現状を冷静に踏まえて、少しずつでも希望の道筋を見出さないと。まず市民ひとりひとりが自立的な考え方や基礎基本を大切にしておんとうのことを知るために学ぶ姿勢をもつことが必要なのではないでしょうか。例えばもっと自分の心身を健やかに保つ工夫と日々の努力をしたうえで、医療保険や介護保険を活用する。地球環境問題や、原発問題などももっと現状をよく知ることが宇陀市の環境問題の解決のためにも必要なのではないかと思ひます。また男性と女性は建前の人権尊重じゃなく心から人間としてお互いを認め合い、尊重し合い、協力し合うことがより明るく楽しい宇陀市を目指していく基本パワーになるのではないではないでしょうか。何をすることも“人”です。人材育成が大切です。もちろん宇陀市の行政力に市長さんはもちろんのこと職員ひとりひとりの働きに、おおいに期待しています。
70 歳代	女性	まちづくりの案もよいが、市に合併して何かにつけてサービスがいままでより無くなったことが不満です。何のための合併かわからない。
70 歳代	女性	菟田野に住んでいる者です。宇陀市になっていつも感じるのですが、他の地区に比べて菟田野は何かにつけて取り残されているように思えてなりません。もちろん地元の努力も足りないのですが、菟田野にも目を向けていただければ嬉しく思ひます。地元の人との話題はいつもこの事です。そう感じているのは私だけではないようです。
70 歳代	女性	地域の声を聞きながらのまちづくりはなかなか難しいと思ひます。区制もはずされ、市が一つになったとの考え方を元に行政が何をやらなければならないかが第一と思ひます。国も地方もまずは行政改革と言われてはいますが、行政にたざさわる人もまた地域住民のことを思ひうのではなく、市一つを思ひ考へていくまちづくりが必要と思ひます。「不要になった役所、学校は処分する」との思ひをもっております。
80 歳以上	女性	統合により、何ひとつ良いことがなく、役場内も誰も(ほとんど)人がいなく、ほとんど市役所への移動となり淋しくただの建物だけになり、このままでは朽ち果ててしまい、何でも主に榛原が一番に決定していきますね。他の住民の声は通りません。市になる前の方がよく、人間味があったように思ひます。今からでも前に戻してほしいと思ひている方々は沢山いるはずだと思ひます。榛原だけが良くならず、もっと他の町村に目をむけてほしいです。もっと力を入れて下さい。病院が建っても良い先生が来ないとまた赤字にもなるし、入院にもならない病院です。またハコ物ばかり造り、私たち住民が赤字を背負うばかりです。人との付き合いも冷たく感じるようにもなりました。市役所へ行っても機械的です。年寄りにとっては少しの会話でも楽しいのですが、ハイ、ハイで終わってしまうのが現実ではないでしょうか。

20 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・無駄な資金を使わないこと。公共事業でも、必要がないものが多い。 ・市長がどのような人なのか調べないとわからない。市民の半分以上、特に 10 代・20 代などは、市長自身に興味がない人間が多いため、若い世代と宇陀市の上層部との交流が必要だと思う。老人ばかりふれ合っている、選挙対策としか思えないし、これから若い世代を中心として盛り上げていかなければ、だんだん宇陀市の過疎化は進んでいくと思われる。はっきり言うと、おもしろくないまちです。
20 歳代	男性	橋本市長みたいなリーダーが欲しい。
30 歳代	男性	まちづくりは市民自身が行っていくもの、市外に出て行く人が少なくなるような魅力あるまちづくりへの取り組み。行政はそのサポート。
30 歳代	男性	地域経済の活性化、大阪のような独裁的な行政も必要かと思う、変えようとしないうムダ、ムリを変えて経済を動かすことが大事。
30 歳代	男性	<p>第一に市民が住みよいと感じ、宇陀市に住んで良かったと感じる市にして頂きたい。予算の削減で職員（市、消防等）を削減することで、宇陀市に住んでいる市民へのサービスの低下につながるのではないですか？ここ数年の間で近隣の市の居住した友人達の話や、交通の便が悪く、他の市町村の方が住み心地良く、住民サービスが充実しているという人が多く見受けられます。また震災が起こったことを機に、宇陀市を災害に強い市にして頂きたい。高齢化や田舎ならではの特性を逆に生かし、他の市町村で住んでいる人が宇陀市で住みたくくなるような市にして下さい。そのために他の市町村（県外、県内）と交流を深めて頂きたい。例えば、他の市町村では高齢者宅で何かがあった時のことを考えて、冷蔵庫に入れる医療情報キット、住宅用警報器などを助成または無償配布するなどし、高齢者が住み良い環境をつくっています。このままでは市民が住みよいく感じず、若者にも宇陀市に住むことで負担が多くなります（今でも高齢を理由に若者が頼りにされている）。私自身、東北での震災を機に、防災について考え調べ、備えることをするようになり、他の市町村の住民と交流して初めて防災の必要性を感じました。宇陀市を特産品や観光で有名にするだけでなく、市が中心となって自主防災（自治会）へ呼びかけるなどし、災害に強い市で有名にしてはどうですか？そのために職員を減にせず、住民サービスを向上させ、高齢者、子ども、若者が住みやすい環境は元より、他の市町村へ移住された人が宇陀市へ戻りたいと言ってくれるような市にして頂きたいです。検討の程よろしくお願い致します。あと、野ばなしや放し飼いのペットの対策、どうにかして下さい。子どもが外に出たくないと言っています。衛生的にも心配です。よろしく申し上げます。</p>
30 歳代	女性	人が安全に住みたくなる環境づくり。特に若者が住みたくなるようなまちづくりをお願いしたい。
40 歳代	男性	市政運営も強いリーダーシップと予算が基本だと思うので、各事業予算の決定執行後、必ず市民に費用対効果を明確にわかりやすく明示してほしい。市職員、議員は公僕であることをもっと自覚し、市民は今まで以上に、ただ無言の市民であるだけでなく、各自がこの厳しい経済状況下の中で納税者である立場からも色々な角度で注視していることを忘れないでほしい。税の公平性、透明性を維持するうえでも、滞納者、未納者を許すような市政はすぐに改善してほしい。さもなければ、筆者自身も前述者に変身する可能性大である。
40 歳代	男性	住民が納付した税金で実施されるまちづくりですから、真剣に議論されたうえで、真に必要なもの限定して、費用対効果を考えて取り決めるように切望します。榛原駅周辺の住居の土地を買収し、道路を拡充する取り組みを進められておりますが、真に必要なものとは到底思えません。自然を保護し、都会から移り住んできた者も、定住したいと思う施策を要望します（前市長がリベートをもらっていたのか、榛原は不必要な土建作業が多い）。
40 歳代	男性	人口の減少が目立ちます。それに伴い悪循環に歯止めがかかりません。産業、経済の縮小、ほったらかしの山林、少子高齢化。雇用も少ないです。市長にはもっと企業誘致など経済の発展に知恵を出していただきたい。経済（雇用）が発展すればもう少し住みよい榛原になると思います。人口も増加すると思います。高齢者の支援も必要だと思いますが、もっと若者や子どもの支援を充実させるべきだと思います。頑張れ市長。市役所の職員の皆さんちょっとだらけすぎです。

50 歳代	男性	住みよいまちづくりという目標は行政に当然の義務であるが、具体的な施策や方向が示されず、このアンケートも枝葉（末節）のアンケートでしかない。幹が理解されていないのにあまり意味を感じない。一体この市をいかなる手段、施策によって目標を達成しようとしているのか？太い幹を示し、それにつながる施策手順を示さなければ住民の協力も理解も得られない。人口を増やすばかりではなく減らさない施策がまず必要。
50 歳代	男性	若い人から中年、老人までこの町でぜひ生活したいと思える町になるのがベストだと思う。経済を重視しないで大自然と共に温かさを体感できる宇陀市に！ブータン国王来日の時話題になった幸福度を高める方向で、一歩ずつではなく三步ずつ位上げる施策を進めて下さい。
50 歳代	男性	財政健全化が必要。
50 歳代	男性	財政健全化、休農地の活用、空き地の利用、兼業農家のサポート。
50 歳代	男性	まちづくりに関わる情報を、市民に常にオープンに伝えるようにしてほしい。
60 歳代	男性	地域住民が共に支えあう心、地域コミュニティの形成に取り組む施策の充実が必要。住民の人気取りの施策は不必要、行政の果たすべき役割を問いただしながらの行政を願いたい。地域住民の負担にふさわしい行政を（特に人件費の削減が必要。公用車についても複数乗車している）。
60 歳代	男性	取り組みも結構ですが、何年も前からの課題でありながら、どれだけ実を結んでいるのか疑問です。それよりもムダを省いて（例えば平成子供の森公園などの維持費など。市民はこんなものは意味がないと言っています。はっきりいって無駄遣いです）。市民の生活向上につながるような身近なことや市の発展につながるようなお金の使い方をしてほしい。高い市民税を納めている意味がない。高い税金を払っている者が馬鹿を見るような市になってほしくない。はっきり言って、こういうアンケートにもお金がかかっていると思いますが、どれだけ意味があるのかも疑問です。細々とした取り組みも結構ですが、もっと将来を考え大きな企業誘致など、雇用促進や市の発展につながることに取り組んでいただきたいと切に願います。
60 歳代	男性	行財政改革の推進（有効な資金作り）、市税（30 億）の減少、人口の減少、職員の適正配置、森林資源の活用。
60 歳代	男性	住みよい事、病院が近いこと、働く場所の提供、人が集まる施設の設置、農林業の充実。特色のある宇陀市、人の集まる宇陀市を目指してほしい。
60 歳代	男性	公共運営経費、ムダを見直し、少子高齢化対策を急ぐ。
60 歳代	男性	高齢化・少子化の時代に突入り、特に地域ぐるみ（垣内単位）での助け合い、命を守る意識の高揚を図るとともに、体制づくりに対する市のサポート（啓発等）を実施してほしい。宇陀テレビ・広報うだ以外に地域事務所から出向いてでも地域単位での取組みの体制づくりを推進してほしい。誰にでもわかるマニュアルを作成し全戸に配布してほしい。
60 歳代	男性	今後も増加する少子高齢化に向けての行政側の取り組みについては、その対応を特にお願したい。税収入が落ち込んでいくなかで、出費だけが增加する現状でありますので、人件費の削減、議員定数の削減をもっと進めてください。
60 歳代	男性	施策に斬新な企画がきわめて少なく、市民には改革の成果を実感できない。 ①人材の育成。従来の公務員的発想では対処できない。民間的手法を積極的に取り組む人材を登用が重要。 ②各種施策、事業活動、団体活動等を公正に評価をして、予算を策定する。 ③各種推進会議、諮問会議等の参加（指名）者に広く民間人の貴重な経験をしている人物を入れているか。市側にとって都合のよい人物に片寄っていないか。
60 歳代	女性	少子高齢化が早いスピードで進み、また過疎化も同じ速さで進んでいる中で、行政主導のまちづくりではなく、その地域地域の小さな単位で、福祉等々の取り組みができれば良いと思っています。地域は地域の人が支えるを基本にする。小さな生活圏がたくさんできればと考えます。

60 歳代	女性	重伝建の指定等、街並みのイベントを開催するさい、各大字（おおあぎ）の総代を中心にしてイベントにもっと協力していかないと役員の方だけが大変な任務にしなければならない。総代の交流、話し合いもあまり実施されていないように思う。街並み個々に伝える意識を持って行司に活力することも大切だと思います。大宇陀で生まれ大宇陀で生活できる幸福にいつまでも感謝しながら、余生を過ごしたいと日々思っていますのでよろしくお願いします。
60 歳代	女性	全国的に高齢化が進み、給付と負担をどのように進めていきますか。
60 歳代	女性	行員の建物の整備はいいが、内容が伴わない、と言ったことのないようにしてほしい。また生涯学習についても（仕組みを）作るだけで後のフォローがない、といったことのないようにしてほしい。その場限りの策ではなく、継続していける、遠く将来を見据えたものにしてほしい。
60 歳代	女性	幹線道路の充実は大事だったが、いまからでは無理でしょう。経済的なこと（制約）があるだけに、やってほしい事は少し無理かなと感じています。
60 歳代	女性	人口急減、要介護高齢者の増大、農林業の荒廃、厳しい財政、膨大な借金など、暗い話題ばかり、これは宇陀市のみならず日本の市町村共通の問題。しかし北海道の池田町のように、農産物の加工から販売までを一貫して行って雇用の促進と町への定着を図った例もある、十分な説明責任と強いリーダーシップがあったと思われる。宇陀市も住民が知恵を出し合い協力し合える場作りと仕掛けが必要、文章だけバラ色の計画でなく、一つでも実現可能な計画にしてほしい。
60 歳代	女性	活性化となるような取り組みを実施してほしい。
70 歳代	女性	市内もこの数年で見違えるほどに……。今後に期待しています。
70 歳代	女性	住みよいまちづくりをお願いします。
20 歳代	男性	これまでの市政を見ていると、観光政策に力をいれるだけで、その他の政策において魅力的なものが見えません。外側へアピールすることも必要ですが、市民の生活の向上を考えることも必要だと思います。僕は現在大学生ですが、将来就職して、このままこちらに住む魅力が今のままでは全くありません。もう少し交通の便を良くしたり、スーパーなどを増やしたりできないでしょうか。「宇陀市に来たくなる」ではなく「宇陀市に住みたくなる」政策をしていただきたいです。また住む・住まないの選択は主に若者がするので、もっと若者に魅力的なまちづくりもお願いしたいと思います。
20 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化に対する良案を出してほしい ・ 子育てするのに優しいまちづくり ・ 必要性を感じない工事をなんとかなくすか、本当に必要なところに税金を使ってほしい。 ・ 通信（特にインターネット、光ケーブル、テレビ）についての環境整備。
20 歳代	男性	日ごろから住民のために力を尽くしていただいているとは思いますが、市でも奥の田舎の方にまで、がんばりが伝わってきません。どうも駅周辺だけが活性化され、不満の声が出ています。道の整備などももっとしなくてはいけない所があるのに「なぜそこ？」と思います。あくまでうわさですが、3月中に今期分の財源を使いきるために、無駄に道を整備しているということはありませんか。今期分を残すと来期に影響が出て大変になるのかもしれませんが、使い方を考えてくだされば。これからのまちづくりに私の周りも協力的ですが、不満の声があるのも理解していただけたらうれしいです。アンケートにも満足としたいが本当に目に見えてきません。住民も協力しますのでよく考えて良い案を出してください。
30 歳代	女性	細かいところにまで目を配ったしっかりしたまちづくり。
40 歳代	男性	もっと私たちに見えるような政策をしてほしい。
40 歳代	女性	一人暮らしのお年寄り、介護をかかえた家族、働く若者、小さな子供をかかえた家族、みんなが安心して暮らせる宇陀市になればと（だれもが思っていることとは思いますが）思います。

40 歳代	女性	宇陀という所は何も特徴のない所だと感じています。何か一つでもいいので、1 番があったら良いのと思います。すばらしい自然と人間を生かした計画がたくさんあるように思います。市長様にはリーダーとしての役割を果たして頂き、今以上の活発な行動を望みます。老人が生き生きと暮らし、1 回でも病院に行く回数が減ること。子ども達が外で元気に遊ぶ環境。みんなが楽しく働ける産業や農業。日本一住みやすい市を目指して下さい。
40 歳代	女性	さまざまな世代が生き生きと生活していけるように取り組んでもらいたい。行政に携わる人達が市民の声を聞き考え働く姿を見ることで、市民も宇陀市の未来をもっと深く考えるようになるのでは。いつまで宇陀市でいられるのかわかりませんが、すばらしい宇陀市にしたいと思っています。
50 歳代	男性	不況で世の中が暗くなっているように思うので、具体的には 1 年後、心が明るくなったと実感できることが大切です。このようなときは、過去の歴史に学ぶのが一番よい。まずは二宮尊徳(金次郎) に学ぶことをおすすめする。尊徳の思想をわかりやすく、現代的に説明したものを広報の 1 ページとして作れば、宇陀市もよくなると思う。2012 年はかなり厳しい年で、住民が不安になることがたくさんおきくと思われるので、今から市役所も覚悟を決めて、取り組んでほしい。宇陀市に天変地異が起きないことを心より願うものである。
50 歳代	男性	この厳しい財政難の時代に従来通りの単年度予算ではどうしても無駄が生じると思っています。したがって複数年度にわたって繰り越しのできる予算システムに変更すべきだと思います。
50 歳代	女性	老人が安心して（一人でも）生きていける施設に充実。市職員の定員を減らす。年内を通して観光地となるための施設、催し、人口減少させないための定住できる家、働き場所を作る。老人がより合っている仕事の提供。大阪のように大胆な内容改革を求めます。過去にしばられず、しがらみをたち、他市にはない大きな特色をもつ市にしてほしい。特区しかり、B 1 グルメしかり、レトロな催ししかり、お城建設しかり、空き地がないほど桜いっぱいのみちしかり、ひと山全部桜だったり（吉野山のように）、しりはらを利用してバーベキューなどができる場所があったり、水路に年中鯉が泳いでいたり、榛原からトロッコ電車、トロッコバス、馬車など今までにないものを企画してください。
60 歳代	男性	伊賀市のオカリナ、フルートのコンサートへ行きました。心おだやかな時を過ごしました。榛原に住みたいと思うことがありません！税金が高い。子供が帰ってくるような企業がきてほしい。
60 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の中心部を主にしたまちづくりでは駄目。市全体のまちづくりが必要。まちづくりには費用がかかる。については市職員の人員が多すぎる。市職員を減少させるのが難しいのであれば、外注を減少させ、その仕事を市職員に働かせればよい。そうすれば人件費が減少させられ、まちづくりの費用が捻出される。 ・施策番号 1～82 の施策より企業誘致を行い、人口を増加させることが大事である。
60 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・どの施策にも“なぜ”がない（一般企業の取り組み方、思考とは程遠い）。例：なぜ若者が宇陀市から出て行くのか？なぜ出た若者が U ターンしないのか？ ・施策項目があっても具体的な推進内容が不足・・・なぜか。同時に目標値（数字）が不明確・・・なぜ。 ・いままでに誰が何をどのようにといった 5W 1 H の活動が具体的に示されてる内容が少ない・・・なぜ。 ・税収入の減少は人口減少と共に比例するのでは？非常に心配である。
60 歳代	男性	まず本アンケート調査の項目で「どちらともいえない」との文言があるが、いま生活している環境にほとんど関わっていないのでわからないため、どちらともいえないに○をつけています。市長が提案しておられる宇陀市のまちづくりは漠然としていてわからない。もっと計画をして具現化を立て実行すべきだ。また全国の他市町村で成功している例があると聞いているが、そういう所を参考しているのか？企業誘致にしても 1 社でも出来たのか？人口の減少に歯止めがかからないのはわかっておられると思うが、宇陀市が自然だけで何の魅力もない。もっともっと真剣に議論をして一つひとつ実行して頂いてもらいたい。ちなみに私は 8 年前にこのまちに引っ越してきたが失敗したと思っており、また転居を考えている。

60 歳代	男性	宇陀市が活性化するにはどうすればよいかというビジョンを明確にし、市民全体が参画できるよう、また進んでできるように、市がきっちりと舵取りをしてほしい。
60 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・財政再建は宇陀市の最大の課題だが、なんでもかんでも統廃合ではなく、市の将来と今後のまちづくりに市民が夢がもてるようにすることが大切。 ・トップダウンのまちづくりではなく、ボトムアップのまちづくり。
60 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化に向かって、地域全体で子どもを大切に育てることを行政で取り組み、その重大性を知らしめる。 ・住みよいまちづくりといくら叫んでも、地に足をつけてなければ、ただの理想にすぎない。(市長さん) 地震が来た時の対処等、まず、もっときめ細かに徹底させ、市民全体が承知しなければならない。 ・市財政の落とし穴をしっかりと検証し、まず無駄をなくしていただきたい。 ・水道代が高すぎる。 ・このアンケートの内容は、はっきり見えないことが多すぎます。もっと重要な内容がほしいです。
60 歳代	女性	有効活用されていないいわゆるハコ物をスリム化し、また造らないこと。
60 歳代	女性	施設を集約して、使わない施設を民間に使っていただいて収益を出すように考えてほしい。
60 歳代	女性	以前、宇陀市福祉大会、戦没者慰霊祭にボランティアとして参加しましたが、参加者に配る粗品が、かなりの数残りしました。どのように処分されたのか気になります。また、いきいきサロンのボランティア養成講座においても、むだが多いように思います。これからの行事は良いことと思いますが、また、天災に備えて市民の普通の生活が維持できるように準備しておくべきです。メープルパークの維持についても疑問に思います。市民の負担にならないように先を見据えてほしいものです。
70 歳代	男性	宇陀市を住みよいところにしてください。
70 歳代	男性	アンケートに記入しながら、宇陀市の現状をあまり知らないと思った。現状の把握が不十分では進歩もありえないと思うし、特に多岐にわたる問題のある行政の方向は定まらないのではないかと思う、もっと市民に宇陀市の現状と問題点を広報などで提起してほしい。
70 歳代	男性	設問の項目すべてについて対策を講ずるのは、ほとんど不可能でしょう。やはり重要項目を絞って、重点的な事柄に集中施策を講じる必要を感じます。
80 歳以上	女性	バランスのとれた地域づくりが必要とすると、一隅を照らす(細かいところにまで目が届く)市政が大事。過疎地も身の丈に応じた施策を考えて、埋没する地区のないようにすることが行政の務めである。特定地域にのみ力を注ぐことはいずれ憂き目をみる日が近い市の姿であるので為政者は心してほしい。
不明	不明	宇陀市の行政用語として、地域づくり、市民の絆、福祉社会の具現化等が使用されていますが、実質的な行政策が講じられているとは感じにくく思います。もっと目に見える施策、実感できる市の姿を示してほしい。緑とうるおいのある文化とはどんな姿を市民に描かせるのか明確に示す必要があると思います。若者が夢と希望をもって暮らせるまちづくりの実現には、働く場の存在が望まれるでしょう。人々の温もりが感じられるまちにしてほしい。
30 歳代	男性	宇陀市に住んで、税金高く、水道代も高い。市民サービスが充実しているかと言われるとそうでもない。宇陀市でよかったと思えるところは少ない。観光に力を入れるのか？農業？企業誘致？ “～の町 宇陀市”と呼べるものを作ってください。また、国・大阪市などがクローズアップされているが、支出も大幅にカットしてください。動きが住民に伝わらないのも不満です。しっかりしろ！宇陀市！宇陀市長！・・・子供の学力アップも同時にお願いしたい。生駒、奈良市と比べるとレベルが低すぎる。
40 歳代	女性	国保税が高すぎる。水道代も高すぎる。市民が安心して生活できる環境づくりに力を入れてほしい。街灯を増やしてほしい。

60 歳代	男性	税金を納める人の生活が苦しく、生活保護（要・準保護）を受けている人か、生活が楽な社会を作らないでほしい。せめて国民年金より少ない額にすべきではないだろうか。
70 歳代	女性	老人から税金を取るな。
不明	不明	大阪から越してきて、市民税、国保税、介護保険料などが高くて驚いた。こまどりケーブル料金も高い。老後が不安。
30 歳代	女性	大阪の実態をテレビで見ると、しょせん役場の人間は、というイメージしかないです。やっぱりな、と。町をいいふうにしよう！！こうしよう！！などお金をかけて何かをする前にまず目の前、足元を見直すべきです。榛原子供の森公園は町税を使って作っているのだから、市民には返す意味でも駐車料金などは下げるか、なくすべき。町の公園に遊びに行く気軽さがなくなった。
30 歳代	女性	無駄をなくし、市民に優しいまちづくりをお願いします。新しい作業服を着て、新しい長靴や革靴を履き、つつ立って泥まみれになって作業をする人を見ているだけの職員をしっかりと働かせて下さい。市民に要求する前に職員のあり方を見直して下さい。河川の草刈りも住民が大変な下を刈り、楽な上を市が刈っている今のやり方を見直して下さい。よろしく願いいたします。
30 歳代	女性	全体について：広報うだにアンケート結果を載せて終わりではなく、具体的に期限を切って具体的な回答を示してほしい、何でもかんでも力を入れますではなく、ズバリ宇陀市はこれ、というのがあればいい。例えば市立病院の産科、小児科を充実させて「当市は子育てを頑張っています」など。 個別意見： ・上下水道が整備されていない地域がある。 ・市立病院スタッフの質が低い。 ・公立の保育所が午後4時半までで、働いている親にその時間に迎えに来いというのは非常識、しらゆり保育園を見習ってほしい。 ・奈良交通バスのような大型は不要、マイクロバスで充分。 ・地域で人権集会をする意味が分からない。 ・商店街どころか、スーパーも廃れている
40 歳代	男性	土日業務、交代制でも。出勤、業務、帰宅時間での交通マナー。
40 歳代	女性	一般企業と同じようにボーナスカットや昇給ストップなどで（市の財政の）赤字を解消するように。また、議員の数を減らすなどコストカット等、税金（市民）でまかなわれていることをもっと考えてほしい。市職員の方々は、考えが甘すぎると思います。無駄な残業や休日出勤、業務外での市の車の使用など、あまりにもひどすぎる。まちづくり以前に職員の市政をただしてほしい。今のままでは一市民として、協力したいとは思いません。安易な天下りもいかなものか。
40 歳代	女性	平日の行政サービスの時間延長、もしくは休日の臨時窓口の開設。例えばサンクシティの空きテナント等を利用するなど、市民の利便性に考慮した形での行政サービスの改善を強く求める。
50 歳代	男性	・市職員の削減にて費用を他業務へ。役所訪問時にはいつも考えるのが新聞を読んで茶を飲んでいる人、暇で困っている職員を見かける！小説を時間内に読んでいる人、やはり人員が多すぎる。役職者が多い！ ・スキル不足の人が多。配布される資料内容から。 ・人権ばかりでなく、費用効果を考えた施策を！ ・総務は人員を半分で良いのでは？
50 歳代	男性	市職員の意識改革。宇陀テレビをやめて、その予算を他に回すべき。
60 歳代	男性	旧榛原町職員の経営概念の希薄（欠如）により行き詰まった美榛苑の経営を専門業者に任せ、賃貸料で赤字補填を行っていますが、現状の賃貸料の価格では現美榛苑の運営は苦しく、専門業者の撤退を余儀なくされるでしょう。市も長い目で見ることを行い、賃貸料を下げ、長い存在を願ったほうが得策ではないでしょうか。一市民として税金の持ち出しを少しでも減少させたいと願います。是非一考を！市長に願う、職員の動作を厳しく。

60 歳代	女性	まちづくりも大切なことと思いますが、まずは人間作りも必要ではないですか。特に市役所の職員の対応に、いつ行っても気を悪くして帰ります。仕事にもかかわらず、ガムをかみながらパソコンに向っている。言葉に傷つく。市役所は街の窓口でもあり、心づかいが必要ではありませんか。無駄な職員も多くいます。我々の税金をもっと大切に使って。職員の数も問題ですね（年金生活をしている人たちのこと、真剣に考えたことがありますか）。
60 歳代	女性	宇陀市職員の仕事への意欲のなさが見え、市民の模範となるべき姿、態度の徹底！早期実行を望む。宇陀市のまちづくりどころではないと思う。民間企業の厳しさを学んでほしい。皆が見習うような厳しい態度、姿勢に努めてほしい。立派な建物の中に、労働意欲に欠ける人間の集まりでは、素晴らしいまちづくりは成り立たないと思う。

アンケートについて

年齢別	性別	意見
10 歳代	女性	小中学校の学校環境（プールがつぶされる、いじめがなくなる、先生方はちゃんと教えてくれない等）が悪く、非常に狭苦しい。まして、プールはつぶして夏の暑い時なのに暑い温室プールに行かせ、しかもそこまでかかる 1 時間も勉強するのだったら、冷たい水で空を見ながら泳ぐ方が楽しいと思います。 「自分たちが将来担っていくまちのことは、自分達できちんと大人に意見したい」という小学生の娘の希望から、アンケートの記入を許可しました。また娘によると、子ども向けのこういったアンケートも実施してもらいたい、意見を述べる場を設けてもらいたいと考えているそうです。
20 歳代	女性	アンケートの報償がクオカードや図書カードなら返送数も増えるのではないかと。あと冊子に 3 つ折の折り目が付いていれば封筒に入れやすいと思う。
30 歳代	男性	アンケートの内容が非常にわかりにくくて、いったい何を質問したいのかがよくわかりません。宇陀市はもう少し真剣に税金の使い方を考えないと、無駄な工事や取組みが多すぎて、それでいて借金が多いとか、やいのやいの言うのは、今の日本の国会と全く同じですね。給料をもらっているのですからもう少し真面目に仕事をして下さい。
40 歳代	女性	何年か前にも同じようなアンケートをした覚えがあるが、費用をかけてアンケートをして本当に役立っているのか、わからない。直接話すのとは違うので、このようなアンケートはあまり意味がないと思う。
50 歳代	男性	記入しても無駄です。
50 歳代	男性	項目すべてが重要な行政課題であり、重要度の低いものは皆無です。しかし現状についての情報知識がないため、判断が困難です。このアンケートで得られる結果は重視する必要はなし。年代別に 100 人ずつ程度面接して回答を得るほうがよいと思います。宇陀市再生の事業アイデアを一般に募集してはどうでしょうか。
50 歳代	女性	「市民の声」もっと聞いてもらえる機会があれば！
50 歳代	女性	ひろく市民の意見を問う姿勢は評価できると思いますが、自分自身が理解していないことについて無責任な回答をしていることに戸惑いを覚えます。過疎化が進む宇陀市にこれからも住み続けるためには、何より働く場所と住みよい環境が必要です。また、農業離れも止まらないうえ、近年は鳥獣の害が増え続けています。個々の努力だけでは田畑を守ることが難しくなっている今、行政の力で農林業を守る手だてをしてもらいたいと痛感しています。宇陀の歴史や地域特性を生かし、派手でなくても「住んでみるといい所」と思えるあたたかなまちになればいいと思います。
60 歳代	男性	施策がとられていると思うが、その事柄を十分に承知していない（広報誌だけでは）。したがって、「どちらでもない」との回答が多くなった。特に、周知すべき事柄は、別の手段も必要かと。

60 歳代	男性	宇陀市が取り組んでいるまちづくりの現状を知らずに満足度の程度の記入などできない。このような調査は無意味である。宇陀市が取り組んでいる（82 の）調査項目について、全戸に知らせて再度調査すべきで、住民に取り組んでいる現状を知らせずに、なんのための調査か不明である。まず現状を住民に知らせてほしい。
70 歳代	男性	このアンケートのように市民の声を汲む機会を多く作ってほしい。設問は「改善の余地なし」「少し改善」「どちらともいえない」「改善」「大いに改善」としたほうが、しっくりくる。
70 歳代	女性	施策番号 1～82 まで読ませていただきました。どれもこれも大変よく考えた文章です。みんな協力して良き宇陀市の発展を願いたいと思います。
80 歳以上	男性	内容の説明についてはっきりと（現在か未来かはっきり。説明が足りないと思います）。記入について、私自身も現在と未来を思っ書いています。
80 歳以上	女性	設問を読みながらあやふやな気持ちのままに○をしてしまうことがあり、アンケートを通してどれだけ住民としての意識を知ってもらえるのかと思いつつ答えてきました。選ばれた 2,000 人の全ての方が活字を読みとり答えることができたでしょうか（厳しくてごめんなさい）。アンケートの 1 つの目安にしながらより細かく思いをひろい集め次へ進めて頂きますようお願いいたします。 ・住民は「してもらう人」、行政は「する人」になってしまうより、「自分たちのまちの意識」を高め、一緒に住みやすいまちづくりを進められるといいですね。